

平成 30 年度全日本ラージボール卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 平成 30 年度全日本ラージボール卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 30 年 6 月 22 日 (金) ～6 月 24 日 (日)
- (3) 会 場 別府市総合体育館 (べっぷアリーナ)
J R 「別府」 駅より徒歩約 10 分
〒874-0902 大分県別府市青山町 8-37 TEL (0977) 21-2323
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 大分県卓球連盟
- (6) 後 援 大分県教育委員会、(公財)大分県体育協会、別府市、別府市教育委員会、
(予定) 別府市体育協会、大分合同新聞社
- (7) 競技種目
- イ. シングルス :
- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス (年齢制限なし) | ⑩一般女子シングルス (年齢制限なし) |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |
- ロ. 混合ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とする。
- | |
|--------------------------|
| ①一般混合ダブルス (年齢制限なし) |
| ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |
- (8) 試合方法 ①各種目とも 11 ポイント 3 ゲームマッチとする。
②全ての種目は、第 1 ステージは 3～4 名 (組) によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者 (組) によるトーナメント方式とする。
(1 種目 1 トーナメント)
- (9) 競技日程 (日程については参加申込数などにより変更することがあります。確定次第本会ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。(6 月上旬予定))
- | | | | |
|------|--------------|--------------------|-------------|
| (予定) | 6 月 21 日 (木) | 受付、練習 | (13:00～) |
| | 22 日 (金) | 開会式 | (11:00～ 予定) |
| | | 混合ダブルス (一部決勝まで) | |
| | 23 日 (土) | 男女シングルス (第 1 ステージ) | |
| | | 混合ダブルス (決勝まで) | |
| | 24 日 (日) | 男女シングルス (決勝まで) | |
| | | 閉会式 | (14:00～ 予定) |
- (10) 競技ルール ①現行のラージボール卓球ルール (競技ルール) による。
②使用球は、JTTA 公認プラスチック球 44 mm を使用する
③表ソフトラバー (粒高ラバーを除く) のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
④ゼッケンは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤第 1 ステージの審判は選手の相互審判で行う。

- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成30年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
 - ②年齢は、平成31年4月1日迄に当該年齢に達している者であること。
（但し、一般に出場する選手の年齢制限はない）
 - (イ) 40（40歳以上）は昭和54年4月1日以前に生まれた者。
 - (ロ) 50（50歳以上）は昭和44年4月1日以前に生まれた者。
 - (ハ) 60（60歳以上）は昭和34年4月1日以前に生まれた者。
 - (ニ) 65（65歳以上）は昭和29年4月1日以前に生まれた者。
 - (ホ) 70（70歳以上）は昭和24年4月1日以前に生まれた者。
 - (ヘ) 75（75歳以上）は昭和19年4月1日以前に生まれた者。
 - (ト) 80（80歳以上）は昭和14年4月1日以前に生まれた者。
 - (チ) 85（85歳以上）は昭和9年4月1日以前に生まれた者。
 - ③各選手はシングルス、混合ダブルスの両種目出場することができる。
 - ④第31回全国ラージボール卓球大会に申込みをする選手は出場できない。
（予選会については都道府県に一任する）
*混合ダブルスはペア解消してもその年度はどちらか一つの大会のみ出場できるものとする。
 - ⑤平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会シングルス8位、ダブルス3位（4組）までに入った選手は翌年度全国ラージボール卓球大会には出場できない。（第32回大会）ただし、混合ダブルス3位までに入りペア解消時は翌年度全国ラージボール卓球大会に出場できる。（その場合、推薦資格はありません）
 - ⑥同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
 - ⑦混合ダブルスのパートナーは同一加盟団体の者に限る。
 - ⑧本大会は選手登録されている各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
 - ⑨審判ができること。（できれば公認審判員の資格を有することが望ましい）
なお、帯同者が代わりに審判をしてもよい。
 - ⑩無条件参加選手（別表参照）
第30回全国ラージボール卓球大会Aクラス（クラス分けのないシングルス80、85、混合ダブルス150、160含む）優勝者は当該年齢種目または下の年代の種目の1つに出場できるものとする。混合ダブルスのペア解消した場合は推薦出場できない。

(12) 参加数

シングルス男女各枠		混合ダブルス	
都道府県名	人数	都道府県名	組数
東京,愛知	各40名	東京,愛知	25組
北海道,静岡	各30名	北海道,神奈川,静岡	15組
千葉,神奈川,新潟,大阪	各25名	埼玉,千葉,新潟	12組
青森,山形,福島,茨城,栃木,埼玉,富山,山口	各15名	青森,宮城,秋田,山形,福島,茨城,富山,大阪,山口,徳島	10組
岩手,宮城,秋田,広島,香川,徳島,福岡	各10名	岩手,栃木,群馬,山梨,長野,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,京都,兵庫,奈良,和歌山,鳥取,島根,岡山,広島,香川,愛媛,高知,福岡,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄	9組
群馬,山梨,長野,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,京都,兵庫,奈良,和歌山,鳥取,島根,岡山,愛媛,高知,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄	各9名		

主管地は男女シングルス各20名と混合ダブルス20組を増枠する。

- (13) 参加料 シングルス1名 3,000円、ダブルス1組 4,000円

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会)

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。(メールアドレスは、申込書に記載。)

〔Ⅰ〕〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

〔Ⅱ〕〒870-0114 大分県大分市小中島2-517 豊和卓球センター内
大分県卓球連盟 宛
TEL (097) 576-9775、FAX (097) 576-9776

なお、大会申込システムを使用の場合は通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

注) 個人またはチームからの(公財)日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けない。

必ず各都道府県の加盟団体が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。

- (15) 申込締切 平成30年4月20日(金)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (16) 表彰 各種目1~3位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。
※参加者が8名(組)に満たない種目は1、2位のみ表彰とする。
- (17) 宿泊 後日、株式会社TEAMより各都道府県の加盟団体へ連絡する。
TEL:096-237-6763
- (18) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③10回出場表彰を行います。該当大会は全日本ラージボール選手権大会出場回数となります。
(10回目の出場者が対象。平成30年度が1回目となります。一度表彰された方は該当しません。)
④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事。
⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応致します。
⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

【別表1】第30回全国ラージボール卓球大会 Aクラス優勝者

一般男子		一般女子	
1. 池田 亘通 (北海道) 南芽部少年団		1. 内海 麻里 (大阪) 長吉卓球センター	
1. 相澤 光 (愛知) 本城クラブ			
男子40		女子40	
1. 三島 崇明 (北海道) 翔くんとゆかいな仲間達		1. 鹿目里江子 (東京) Hachitaku	
男子50		女子50	
1. 吉田 健二 (愛知) 刈谷サタデークラブ		1. 大津絵美子 (香川) 丸亀SC	
1. 山本 保 (石川) ななおクラブ		1. 馮 敏 (岐阜) シャイン	
男子60		女子60	
1. 井上 啓 (静岡) 井上卓球		1. 高橋美根子 (山形) スマイル会	
1. 斉藤 斉 (静岡) しずおか信用金庫		1. 國松 愉美 (高知) 國松企画	
男子65		女子65	
1. 村上 力 (宮城) 桔梗苦羅舞		1. 宮澤喜美子 (東京) 卓習会	
1. 尾関 文憲 (愛知) 一宮クラブ		1. 田村ミサ子 (福島) 会津クラブ	
男子70		女子70	
1. 市川長太郎 (静岡) 静岡ラージ		1. 平田 洋子 (東京) 武蔵野クラブ	
1. 塩田 武志 (栃木) TOCHIGI		1. 松村けい子 (静岡) 静岡クラブ	
1. 岩坂 達哉 (北海道) 卓栄会		1. 宮下 弘子 (新潟) 卓好クラブ	
男子75		女子75	
1. 安久津吉延 (岩手) 釜石卓球クラブ		1. 岡島 瑞枝 (広島) 安クラブ	
1. 本多 清美 (愛知) チーム・HND		1. 中原 良子 (山口) 岩国東同好会	
男子80		女子80	
1. 小野塚章司 (千葉) ベガクラブ		1. 原田 哲子 (山口) 柳友クラブ	
1. 石田 公典 (東京) 小金井卓連		1. 長瀬ちづ子 (愛知) 明誠クラブ	
1. 池内 祥治 (熊本) SEIZANクラブ		1. 土屋 慶子 (東京) 卓美会	
男子85		女子85	
1. 古畑富士夫 (静岡) 浜北クラブ		1. 小笠原まさ子 (山形) 卓愛会	
一 般 混 合			
1. 武田 麗/武田 佳那 (愛媛) フォーネット			
混 合 80			
1. 藤本 武司/小野 千代 (東京) ニックサンフレスト/卓精会			
混 合 100			
1. 山田 昭仁/小長井千恵子 (静岡) 青嵐クラブ/静岡クラブ		1. 村上 力/村上 富貴 (宮城) 桔梗苦羅舞	
混 合 120			
1. 弘光 利彦/濱川 永子 (高知) 四国銀行/國松企画		1. 才田 和昭/才田 道子 (富山) 福光卓愛会	
混 合 130			
1. 柴田 和正/川澄 真弓 (愛知) ザ・安祥/エムクラブ		1. 濱西 隆重/横山祐見子 (高知) ピンポン館	
混 合 140			
1. 天野 勝巳/八木 淳子 (徳島) 城西ラージ/個人		1. 櫻井晴一郎/松村けい子 (静岡) 白龍クラブ/静岡クラブ	
混 合 150			
1. 渡部 洋一/田崎 朝子 (福島) 会津クラブ		1. 川原田伸一/中道多美子 (山口) 卓愛会宇部/柳友クラブ	
1. 山内 富裕/三上 民江 (青森) 青森ミルウェイ卓球クラブ			
混 合 160			
1. 林 力/畑山しげ子 (北海道) 札幌高卓会		1. 古畑富士夫/谷野 弘子 (静岡) 浜北クラブ/浜松リリース	

第 37 回全日本クラブ卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 37 回全日本クラブ卓球選手権大会
(2) 期 日 平成 30 年 7 月 13 日 (金) ~16 日 (月・祝)
(3) 会 場 サオリーナ
〒514-0056 三重県津市北河路 19-1 TEL : 059-223-4655
近鉄名古屋線「津新町」駅より バス「南河路」下車 徒歩 5 分 (1 時間に 1 本)
〃 バス「サオリーナ前」下車 (1 時間に 2~4 本)
【車 : 伊勢自動車道 津 IC より約 3 分】
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 三重県卓球協会
(6) 後 援 三重県、(公財) 三重県体育協会、津市、津市スポーツ協会
(7) 競技種目 (団体戦) (イ) 男子 : 一般の部 1 部 (ロ) 女子 : 一般の部 1 部
(ハ) 男子 : 一般の部 2 部 (ニ) 女子 : 一般の部 2 部
(ホ) 男子 : 50 代の部 (ヘ) 女子 : 50 代の部
(ト) 男子 : 60 代の部 (チ) 女子 : 60 代の部
(リ) 男子 : 小・中学生の部 (ヌ) 女子 : 小・中学生の部
- (8) 試合方法 競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行う。
- 一般の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 50 代の部 : 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 60 代の部 : 選手は 60 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 小・中学生の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名 (小・中学生のみ) を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス 1 ダブルスで編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

1	2	3	4	5
中学生以下	小学生	小・中学生 or 小学生同士	小学生	中学生以下

※小・中学生の部のみ年令の低い者が年令の高い所への出場することを認める。

- ※シングルスとダブルスの 2 試合に出場できるが、シングルスのみ 2 試合出場することはできない
※第 1 ステージのリーグ戦は原則 3 チームリーグとする
※申込後、監督会議終了までの登録選手の変更は 2 名までとし、いずれも予選に出場していない者とする。
また、監督会議後の変更は受け付けない。
※両チーム整列時に、試合に出場する既定の 4 名以上のメンバーがその場に整列していなければならない。
(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)
※前年度のランキングチームであっても予選リーグより出場となる。

- (9) 競技日程 (日程については参加申込数により変更されます)
- | | |
|------|---|
| 監督会議 | 各種目、競技日程初日前日の 15 : 00~ (於 : メッセウイング・みえ大研修室) |
| 競 技 | 7 月 13 日 (金) 50 代の部、60 代の部 |
| | 14 日 (土) 一般 2 部、50 代の部、60 代の部、小・中学生の部 |
| | 15 日 (日) 一般 1 部、2 部、小中学生の部 |
| | 16 日 (月) 一般 1 部、2 部 (参加数により 2 部を 3 日制にする) |

(10) 競技ルール

- ①現行の日本卓球ルールによる。
- ②全試合 11 ポイント 5 ゲームで行う。
- ③使用球は、J T T A公認プラスチック球；40 mmホワイトのみを使用する。
- ④ゼッケンは平成 30 年度（公財）日本卓球協会指定のものを持参して使用すること。
- ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。

(11) 参加資格

- 1)参加者は平成 30 年度、（公財）日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の（公財）日本卓球協会新規選手登録は認められない。
また、日学連、高体連に加盟している者は出場する事ができない。
 - 2)参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。
(平成 30 年度より：隣接都道府県からの参加は認めない。第 36 回大会(平成 29 年度)に隣接都道府県より出場しても平成 30 年度に 1 年間あける必要はない。)
 - 3)出場選手は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
 - 4)卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
 - 5)男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
 - 6)予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは 2 名までとする。予選方法は加盟団体に一任する。
 - 7)前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものとして取り扱う。
 - 8)前年度ランキングチームが『前年度一般の部から 50 代の部』、『前年度 50 代の部から 60 代の部』に出場する場合、選手が 4 名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
 - 9)外国籍の選手（日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは引き続き 10 年以上日本に在住している者は除く）は 1 試合 1 名 1 ポイントに限って参加資格が得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。）
 - 10)本大会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
 - 11)本大会に出場した代表チームの選手は、第一三共ヘルスケアレディース 2018・第 41 回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。（但し、予選会を除く。）
 - 12)一般の部 1, 2 部男・女は、第 68 回全日本実業団選手権大会（本大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
 - 13)一般の部 2 部男・女
 - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去 3 年間、（'15～'17）下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ②過去 3 年間（'15～'17）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去 3 年間に下記全国大会に出場した選手が 1 人でも含まれる場合には 1 部となる）
 - ③全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。
※下記大会に出場したことがあっても 40 歳以上の者は一般の部 2 部に出場できる。
- 全国大会 a) 全日本卓球選手権（一般・ジュニアの部）、b) 全日本選手権（団体の部）、c) 国民体育大会、
d) 全日本社会人卓球選手権、e) 全国高等学校卓球選手権（シングルス・ダブルス）、
f) 全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
- 14) 50 代の部男・女は、昭和 44 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50 才以上）
 - 15) 60 代の部男・女は、昭和 34 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（60 才以上）
 - 16) 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年齢の低い者だけで構成してもよい。
 - 17) 前年度一般 2 部優勝チームのみが一般 1 部に推薦出場するものとしその他の一般 2 部のランキングチームは一般 1 部もしくは一般 2 部いずれかを選択し推薦出場できる。

- 18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績（ランキング）を剥奪し、当該チームと登録監督・コーチ及び選手は翌年度の本大会に出場することはできない。
- 19) 9) を適用するチームが出場する加盟団体は申込書にその旨を明記すること。
(外国籍選手は※と備考に記載)

(12) 参加数 一般1部、一般2部、50代の部、60代の部

区分	都道府県名	出場枠
1	三重（開催県）、北海道、東京、愛知、福岡	4
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	3
3	大阪、兵庫、岡山、長崎	2
4	その他の府県	1

小・中学生の部

区分	都道府県名	出場枠
1	三重（開催県）、北海道、千葉、神奈川、静岡	4
2	福島、茨城、愛知、兵庫	3
3	栃木、埼玉、新潟、岐阜	2
4	その他の府県	1

区分1：開催県及び平成29年度日卓協該当選手登録人口上位4加盟団体

区分2：平成29年度日卓協該当選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成29年度日卓協該当選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3に該当しない加盟団体

※平成31年度より参加数の区分1を4枠⇒3枠 該当選手登録人員上位4加盟団体、

区分2を3枠⇒2枠 該当選手登録人員5～12位、

区分3を2枠⇒1枠 区分1・2に該当しない加盟団体

*予選会の出場数による追加枠は平成26年度より廃止されました。

- (13) 参加料 団体戦 一般の部1,2部、50,60代の部 1チーム 30,000円
小・中学生の部 // 20,000円

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、推薦チームを含め下記宛申し込むこと。

尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて送金してください。）

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔I〕〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：（03）3481-2371、FAX：（03）3481-2373

〔II〕〒514-0823 三重県津市半田142 津工会館内

三重県卓球協会 宛

TEL：（059）264-7571 FAX：（059）264-7572

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

- (15) 申込締切 平成30年5月28日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (16) 宿泊申込 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他 1) やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

2) 10年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。

- 3) 男女一般1部より各1名最優秀選手を表彰する。
- 4) 第52回全日本社会人選手権大会への推薦出場選手は、本大会の成績によりクラブ委員会が推薦する。
- 5) 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- 6) 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- 7) 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

(18) 第37回全日本クラブ卓球選手権大会推薦出場チーム

第36回全日本クラブ卓球選手権大会ランキング

男子一般の部1部 1 リトルキングスA (神奈川) 2 T.O.M&卓球三昧 (東京) 3 Y.YLINK (岡山) 4 シップス神戸TTC (兵庫) 5 TTC浦和・土合 (埼玉) 6 MD相模 (神奈川) 7 仙台卓球センタークラブ (宮城) 8 カヴァヌーラ (神奈川)	女子一般の部1部 1 MACHIDA BETS (東京) 2 フォーネット (愛媛) 3 MILFLUR (東京) 4 新日鐵住友名古屋 (愛知) 5 九十九 (東京) 6 ROSE (東京) 7 HIBIKI (大阪) 8 藤クラブ (大阪)
男子一般の部2部 1 久御山明伸館 (京都) 2 TTC浦和・土浦 (埼玉) 3 T&Tクラブ (東京) 4 日産追浜 (神奈川) 5 RisingNiigata (新潟) 6 E's (埼玉) 7 蝶友クラブ (埼玉) 8 SPC (茨城)	女子一般の部2部 1 MD相模 (神奈川) 2 田阪TTC (京都) 3 長吉卓球センター (大阪) 4 スマイル (東京) 5 TEAM-ISOGO (神奈川) 6 Sanity (新潟) 7 team 就実 (岡山) 8 横内夢クラブ (静岡)
男子50代の部 1 東京KINGKONG (東京) 2 ゴルベテA (東京) 3 JFEクラブ (千葉) 4 九十九 (東京) 5 ゼフィルス大河原 (宮城) 6 チームDREAM (東京) 7 小浜クラブ (兵庫) 8 龍卓会 (兵庫)	女子50代の部 1 健幸クラブ (東京) 2 みらくる (大阪) 3 千代田クラブ (東京) 4 COLOR (神奈川) 5 卓精会 (東京) 6 浜町卓研 (東京) 7 九十九 (東京) 8 ULTRA-7 (滋賀)
男子60代の部 1 友卓会 (東京) 2 サザンクロス (東京) 3 卓精会 (東京) 4 西東京クラブ (東京) 5 グリーンクラブ (大阪) 6 清友クラブ (大阪) 7 秋山卓球 (福岡) 8 FAMILY (神奈川)	女子60代の部 1 千代田クラブ (東京) 2 FAMILY (神奈川) 3 淑友クラブ (東京) 4 こあら〜ず (大阪) 5 四季高の原クラブ (奈良) 6 甲子園クラブ (兵庫) 7 あすか (兵庫) 8 小町クラブ (広島)
男子小・中学生の部 1 ねや卓球クラブ (岡山) 2 川嶋ジュニア (大阪) 3 岸田クラブ (神奈川) 4 松山TTS (埼玉) 5 新発田ジュニア (新潟) 6 T.Cマルカワ (岡山) 7 フェニックス卓球クラブA (福井) 8 育徳クラブ (大阪)	女子小・中学生の部 1 卓桜会栃木卓球センター (栃木) 2 フェニックス卓球クラブ (福井) 3 ヴィスポことひら (香川) 4 ねや卓球クラブ (岡山) 5 シュエット (埼玉) 6 K&Mジュニア (埼玉) 7 新発田ジュニアB (新潟) 8 TSIジュニア (東京)

第 68 回全日本実業団卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名称 第 68 回全日本実業団卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 30 年 7 月 19 日 (木) ~ 22 日 (日)
- (3) 会 場 鹿児島アリーナ (JR「鹿児島中央」駅より市営バス「鹿児島アリーナ前」下車)
〒890-0023 鹿児島県鹿児島市永吉 1-30-1
TEL : 099-285-2244 FAX : 099-258-4570
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会、日本卓球リーグ実業団連盟
- (5) 主 管 鹿児島県卓球連盟
- (6) 後 援 厚生労働省、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、(公財)鹿児島県体育協会、鹿児島市、
(予定) 鹿児島市教育委員会、鹿児島市体育協会、南日本新聞社、株式会社南日本放送、株式会社鹿児島放送、
株式会社鹿児島読売テレビ、鹿児島テレビ放送株式会社
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①チームは監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名~6 名を登録し(監督のみでコーチがいないチーム編成を認める)、4 シングルス・1 ダブルスで編成し、3 番目にダブルスをおき、3 点先取法により行う。又、各選手は単複に重複して出場することができるが、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
②外国籍の選手は全種目とも、各試合で単・複いずれか 1 回のみ出場とする。
③競技は、第 1 ステージはリーグ戦(原則 3 チームリーグとする)、第 2 ステージはトーナメントで行われる。但し、男子は推薦出場の上位 16 チームをシードチームとし、そのうち上位 8 チームがスーパースードとなり、第 2 ステージのベスト 8 決定戦から、他の 8 チームがベスト 16 決定戦から出場する。また、女子は推薦出場の上位 8 チームをシードとし、同様に第 2 ステージから出場する。
④第 2 ステージの準々決勝~決勝を「チャンピオントーナメント」とし、ベスト 8 決定戦で敗れた 8 チームで行なうトーナメントを「G1 トーナメント」、ベスト 16 決定戦で敗れた 8 チームで行なうトーナメントを「G2 トーナメント」とするコンソレーションマッチを行なう。但し、G1、G2 トーナメントにおいて、総参加数により 8 チームに満たない場合は、本会で対象チームを選出する(女子においては G2 トーナメントに第 1 ステージのリーグ戦 2 位のチームが該当する場合がある)。
※第 69 回(平成 31 年)大会よりコンソレーションマッチ(G1、G2)を廃止する。
- (9) 競技日程
- | | | | |
|------|--------------|--------|--|
| (予定) | 7 月 19 日 (木) | 10:00~ | 監督会議 |
| | | 11:00~ | 開会式 |
| | | 12:30~ | 男子：第 1 ステージ |
| | 20 日 (金) | 9:00~ | 女子：第 1 ステージ、第 2 ステージ 1 回戦
男子：第 1 ステージの一部、第 2 ステージ 1~2 回戦 |
| | 21 日 (土) | 9:00~ | 男子：第 2 ステージ 3 回戦~準々決勝
G1 トーナメント 1 回戦、G2 トーナメント 1~2 回戦
女子：第 2 ステージ 2 回戦~準々決勝まで
G1 トーナメント 1 回戦、G2 トーナメント 1、2 回戦 |
| | 22 日 (日) | 9:00~ | 男女準決勝~決勝 G1 トーナメント準決勝・決勝、G2 トーナメント決勝 |
| | | 15:00~ | 表彰式、閉会式 |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②テーブルはグリーン又はブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみとする。
④ゼッケンは平成 30 年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①各都道府県の予選を勝ち抜いたチームならびに推薦出場チームを構成する選手は平成 30 年度(公財)日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは当該年度(公財)日本卓球協会役員登録をする。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。選手は段級制規程(注 1 参照)に定められた有段者とする。尚、申し込み後の監督、コーチ、選手の変更、追加は監督会議終了までに届を提出すること。監督会議後の変更は認められない。

- ②チーム編成は、原則として同一都道府県内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校（以下団体という）単位とし、平成30年4月30日以前から引続き当該団体に正社員、正職員、契約社員（1年以上の契約）または嘱託（1年以上の契約）として勤務（所属）している加盟会員とする。（学校の場合、学生、生徒を除く）
- ③②の条件でチーム編成ができない場合、同一都道府県内および他都道府県にある同一名称のつく支局・支社及び各工場等とチームを統合してもよい（チーム名にA、B、などを冠したものは同一チームと見なす）。その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場（予選会を含む）している場合、関連他チームへ加わることはできない。また、予選会で敗れたチームからの補充はできない。
- ④③を適用する団体は、各都道府県の予選会および本大会への申込書にその旨を明記すること。なお、チーム編成に不正とみなされることがあった場合は失格とすることがある。
- ⑤推薦出場チーム
男・女共、日本リーグ1部・2部の全チームおよび、前回大会の男子ベスト32のチーム及び女子ベスト16のチームとする。
- ⑥参加資格等に疑義があるときは、本会が調査審議の上、その可否を決定する。

(12) 参加数 前記の推薦出場のチームを除いて、各加盟団体の代表チーム数を下記の通りとする。

		都 道 府 県	代表チーム数
男 子		鹿児島（開催地）、埼玉、東京、神奈川、大阪	5
		上記以外の道府県	3
女 子		鹿児島（開催地）、東京	5
		上記以外の道府県	3

※直近3年間で代表枠を1回でも満たした下記加盟団体は上記枠以外に1枠増枠する。

男子：北海道、秋田、宮城、福島、茨城、群馬、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、富山、石川、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、広島、岡山、山口、鹿児島
女子：なし

(13) 参加料 1チーム 50,000円

(14) 申込方法 推薦出場チームを含めて、出場チームは別紙参加申込書に必要事項を明記し、参加料を添えて、チームが所属する各都道府県加盟団体に提出する。提出を受けた加盟団体は申込書に団体長印を捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。（チームから直接本会へ申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

〔Ⅱ〕 〒899-2703 鹿児島県鹿児島市上谷口町2877 ボヌールF 103号室
鹿児島県卓球連盟 宛

TEL: (099) 248-7091 FAX: (099) 248-7092

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

(15) 申込締切 平成30年5月29日（火）必着のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) そ の 他 ①監督会議 日時：平成30年7月19日（木）10:00～ / 会場：鹿児島アリーナ大会議室

②練習会場：(A)メインアリーナ/ (B)サブアリーナ

日 時： 7月18日（水）(A)(B)13:00～18:00

（予定） 19日（木）(A)8:00～8:40/ (B)8:00～10:00、12:00～18:00

20日（金）(A)8:00～8:40/ (B)8:00～18:00

21日（土）(A)8:00～8:40/ (B)8:00～18:00

22日（日）(A)8:00～8:40/ (B)8:00～13:00

③やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。

⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑥個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

第 68 回（平成 30 年度）全日本実業団卓球選手権大会推薦出場チーム

※ 下表の他、日本リーグ 1 部・2 部に所属するチームは推薦出場となる。

男 子			女 子		
1	協和発酵キリン	(東 京)	1	アスモ	(静 岡)
2	シチズン時計株式会社	(東 京)	2	サンリツ	(東 京)
3	リコー	(東 京)	3	中国電力	(広 島)
4	東京アート	(東 京)	4	日本生命	(大 阪)
5	ファースト	(千 葉)	5	豊田自動織機	(愛 知)
6	信号器材	(神奈川)	6	日立化成	(茨 城)
7	岡谷市役所	(長 野)	7	十六銀行	(岐 阜)
8	原田鋼業	(広 島)	8	J R北海道	(北海道)
ベ ス ト 16	日鉄住金物流	(和歌山)	ベ ス ト 16	愛媛銀行	(愛 媛)
	新日鐵住金名古屋	(愛 知)		エクセディ	(三 重)
	日野自動車	(東 京)		NTT東日本	(東 京)
	フジ	(愛 媛)		広島日野自動車(株)	(広 島)
	東京ガス株式会社	(東 京)		鹿児島相互信用金庫	(鹿 児 島)
	J R北海道	(北海道)		オークワ	(和歌山)
	東京ガス千葉	(千 葉)			
	トヨタ自動車	(愛 知)			
ベ ス ト 24	日製日立	(茨 城)			
	鹿児島相互信用金庫	(鹿 児 島)			
	(株) 栃木銀行	(栃 木)			
	NTT東日本東京	(東 京)			
	(株) 三五	(愛 知)			
	松戸市役所	(千 葉)			
	高松機械工業(株)	(石 川)			
	豊田自動織機	(愛 知)			
ベ ス ト 32	三菱重工長崎	(長 崎)			
	NTN桑名製作所	(三 重)			
	日本新薬	(東 京)			
	藤ミレニアム	(大 阪)			
	長野松代総合病院	(長 野)			
	サーモテック	(大 阪)			
	しずおか信用金庫	(静 岡)			
	岐阜信用金庫	(岐 阜)			

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）③全日本選手権大会（一般・ジュニア）

④全日本選手権大会（団体の部）⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
(ア)	初出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・初段
(イ)	同一大会 3 回目出場者・・・・・・・・・・2 段
(ウ)	同一大会 5 回目出場者・・・・・・・・・・3 段
(エ)	上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 16 入り経験者・・・・4 段
(オ)	上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者・・・・5 段
(カ)	上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者・・・・・・・・6 段

全農杯 平成 30 年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部) 実施要項

- (1) 名称 全農杯 平成 30 年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)
- (2) 期 日 平成 30 年 7 月 27 日(金)～29 日(日)
- (3) 会 場 神戸総合運動公園内体育館(グリーンアリーナ神戸)
神戸市営地下鉄「西神中央」行き乗車、「総合運動公園駅」下車：徒歩 3 分
〒654-0163 神戸市須磨区緑台
TEL (078) 796-1155 FAX (078) 796-1125
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 兵庫県卓球協会、神戸市卓球協会
- (6) 特別協賛 全国農業協同組合連合会(予定)
- (7) 協 賛 日本生命保険相互会社(予定)
- (8) 後 援 兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県体育協会、神戸市、神戸市教育委員会、
(公財)神戸市スポーツ教育協会、(公財)神戸市公園緑化協会、兵庫県生涯スポーツ連合、
スポーツニッポン新聞社、報知新聞社、(株)神戸新聞社
- (9) 競技種目 ①ホープス男子シングルス(小学 6 年生以下)
②ホープス女子シングルス(小学 6 年生以下)
③カブ男子シングルス(小学 4 年生以下)
④カブ女子シングルス(小学 4 年生以下)
⑤バンビ男子シングルス(小学 2 年生以下)
⑥バンビ女子シングルス(小学 2 年生以下)
- (10) 試合方法 ①各種目とも全試合 1 ゲーム 11 ポイント、5 ゲームマッチで行う。
②各種目とも、第 1 ステージは各グループ 3～4 名によるリーグ戦とし、各グループ 1 位の者が第 2 ステージ(決勝トーナメント)に進む。
③前年度ランキング選手であっても、第 1 ステージから出場するものとする。
- (11) 競技日程 7 月 27 日(金) 10:00 開会式(於:グリーンアリーナ神戸)
男女各種目第 1 ステージ
28 日(土) 9:00 男女各種目第 1 ステージと第 2 ステージ 1～3 回戦(一部 4 回戦)
29 日(日) 9:00 男女各種目第 2 ステージ 4 および 5 回戦～決勝まで
14:00 閉会式
- (12) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーン又はブルーを使用する。卓球台の高さは、バンビのみ 66 cmを使用する。
③使用球は全ての種目において株式会社タマス社のバタフライスリースター A40+を使用する。
④粒高ラバーとアンチ系ラバーの使用制限はない。
⑤ゼッケンは平成 30 年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑦ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (13) 参加資格 ①参加者は平成 30 年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。
②ホープスは小学 6 年生以下で平成 18 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
カブは小学 4 年生以下で平成 20 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
バンビは小学 2 年生以下で平成 22 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
③選手は登録されている当該都道府県より、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
④本大会は該当年齢より上の種目にも予選会に出場して代表権を得た場合参加できる。ただしバンビ、カブ、ホープスのうちの 1 種目にのみ出場できる。

⑤平成 29 年度のランキング保持者は、割当人数以外に予選会を経ないで、次の種目に参加することができる。

- (イ) バンビのランキング保持者で現在 2 年生以下のものはバンビまたはカブ。
- (ロ) バンビのランキング保持者で現在 3 年生のものはカブ。
- (ハ) カブのランキング保持者で現在 4 年生以下のものはカブまたはホープス。
- (ニ) カブのランキング保持者で現在 5 年生のものはホープス。
- (ホ) ホープスのランキング保持者で現在 6 年生以下のものはホープス。

※但し、これらの選手も必ず都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。

(14) 参加数 ①下表の通り

都 道 府 県 名	ホープス・カブ・バンビ 男 女 各
兵庫(開催地)、青森	10名
北海道、福島、愛知	7名
山形、静岡、鳥取	6名
秋田、東京、新潟、岐阜、福岡	5名
埼玉、神奈川、長野、石川、福井、大阪、岡山、広島	4名
岩手、茨城、栃木、群馬、千葉、富山、三重、島根、山口、長崎、大分	3名
宮城、山梨、滋賀、京都、奈良、和歌山、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄	2名

②特別推薦枠：前記の人数以外に各都道府県に、次のとおり推薦枠を設ける。

ホープス・カブ・バンビ男女 6 種目の内、2 種目（各 1 名）まで認める。

但し、ペンホルダーもしくはカット型選手※に限る。

なお、申込書備考欄に「特別枠」と明記すること。

※特別推薦枠の対象となるペンホルダー選手、カット型選手について

- 1) 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 2) 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。
- 3) カットを主戦とするプレースタイルの選手。

③ランキングによる加算：平成 29 年度本大会の各種目のランキング 8 名の内に 2 名以上のランキング者を持つ加盟団体（別紙ランキング表に太字で表示）は、当該種目に限り 2 名につき 1 名追加して申し込むことができる。

(15) 参加料 1 人 3,000 円

(16) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

※できる限り、下記 2ヶ所へ E メールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03) 3481-2371、FAX：(03) 3481-2373

〔Ⅱ〕〒665-0024 兵庫県宝塚市逆瀬台 5-15-8 武内 昇 気付

兵庫県卓球協会 宛

TEL・FAX：(079) 771-7919

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAX で送付。

- (17) 申込締切 平成30年6月11日(月)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (18) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (19) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③開会式には原則として全員参加すること。
④大会期間中『フェアプレー』をした選手に対し、全種目を通して男女各1名をフェアプレー賞として表彰する。但し、該当者なしとすることもある。
⑤病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
⑥大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
⑦個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

平成29年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)ランキング

ホープス男子		ホープス女子	
1	中村 煌和 (大 分) 豊和卓球	1	小塩 遥菜 (福 岡) 石田卓球クラブ
2	浅見 勇志 (埼 玉) 松山TTC	2	大久保ひかり (北海道) 文京台クラブ
3	坂本倫太郎 (兵 庫) 石原卓球クラブ	3	上田 紫乃 (東 京) TSIジュニア
4	桐野 蓮大 (鹿児島) 誠卓球CL	4	司 千莉 (兵 庫) 曹クラブ
5	横部 叶愛 (岡 山) ねや卓球クラブ	5	阿久根みこ (山 形) 双葉卓球クラブ
6	三木 隼 (神奈川) 岸田クラブ	6	藤田 知子 (神奈川) 岸田クラブ
7	菅沼 翔太 (山 形) やくわクラブ	7	武藤 菜要 (山 形) 双葉卓球クラブ
8	加山 雅基 (兵 庫) 華兵ロードスカイ	8	竹山 紗矢 (福 岡) こぞのえ卓球
カブ男子		カブ女子	
1	松島 輝空 (京 都) 田阪卓研	1	面手 凜 (岡 山) T.Cマルカワ
2	吉山 和希 (埼 玉) TC中原	2	張本 美和 (宮 城) 仙台ジュニアクラブ
3	木村 友哉 (岡 山) 瀬戸内卓球スポーツ少年団	3	青木 咲智 (福 岡) 石田卓球クラブ
4	渡部 民人 (東 京) 偉関TTL	4	小塩 悠菜 (岐 阜) 三里クラブ
5	由本 琉慳 (岡 山) ねや卓球クラブ	5	姚 梓旋 (愛 知) 卓伸クラブ
6	渡辺 涼吾 (静 岡) ヤマハクラブ	6	片上 優奈 (大 阪) 伊丹ジュニア大阪
7	持田 陽向 (岐 阜) 卓研ジュニアクラブ	7	吉本 はな (北海道) 日高町ジュニア
8	橋本 悠嵩 (愛 知) 卓伸クラブ	8	萩原 怜奈 (岡 山) 安井クラブ
バンビ男子		バンビ女子	
1	岩井田駿斗 (鹿児島) 誠卓球CL	1	井上 真夕 (兵 庫) ALL STAR
2	中野 琥珀 (神奈川) 岸田クラブ	2	佐藤 希未 (埼 玉) マイダス
3	月原 弘暉 (愛 媛) 常磐HSクラブ	3	安藤 海凜 (大 分) 明野ジュニア
4	郡司 景斗 (宮 崎) スマイルTC	4	鹿目 海右 (栃 木) 卓桜会栃木卓球センター
5	松島 翔空 (京 都) 田阪卓研	5	藤本 和花 (東 京) 丸善クラブ
6	浅見 昂希 (埼 玉) 松山TTS	6	三島 悠葵 (東 京) 羽佳卓球倶楽部
7	山下 大地 (愛 知) 美崎クラブ	7	橋本 唯愛 (愛 知) 卓伸クラブ
8	波多間怜偉 (広 島) 東広島少年卓球クラブ	8	香取悠珠子 (栃 木) 卓桜会栃木卓球センター

第一三共ヘルスケア・レディース 2018・第 41 回全国レディース卓球大会 実施要項

- (1) 名称 第一三共ヘルスケア・レディース 2018・第 41 回全国レディース卓球大会
 (2) 期 日 平成 30 年 7 月 27 日 (金) ～29 日 (日)
 (3) 会場 富山市総合体育館
 JR「富山」駅 北口より徒歩 5 分
 〒930-0805 富山県富山湊入船町 12-1 TEL: 076-444-6688 FAX: 076-432-8805

- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主管 富山県卓球協会
 (6) 後援 富山県、(公財)富山県体育協会、富山市、富山市教育委員会、(公財)富山市体育協会、
 (株)北日本新聞社
 (7) 協賛 第一三共ヘルスケア株式会社 (予定)
 (8) 競技種目 ①団体戦 (4 単 1 複) ②個人戦ダブルス (合計年齢別)
 (9) 試合方法 ①団体戦

- (イ) チーム編成
 各チーム共、監督 1 名、コーチ 1 名、選手 6～9 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。競技は 6 名による 1 ダブルス 4 シングルスで行う。なお、選手が監督、コーチを兼ねることは差し支えないが、必ず役員登録をすること。

(ロ) オーダー順序

1	2	3	4	5
60歳以上	50歳以上	ダブルス	40歳以上	30歳以上

- 1) 出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
- 2) 年齢条件を満たす場合、選手は試合毎に出場年代を変更して出場する事が出来る。
- 3) ダブルスには、年齢条件はない。

(ハ) 試合方法

- 1) 原則として 3 チームによる第 1 ステージ (リーグ戦) を行い、各ブロックの同一順位同士による第 2 ステージ (トーナメント) を行う。
- 2) 第 1 ステージ (リーグ戦) は、勝敗に関係なく全試合 (5 番まで) 行うものとする。(例: A 対 B の試合で 3-0 の後、B が 2 点とった場合 3-2 と記録される。) なお、その記録結果は、リーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
- 3) 第 2 ステージ (トーナメント) は 3 点先取で行う。

(ニ) 第 1 ステージ (リーグ戦) の順位決定について

- 1) 第 1 ステージ (リーグ戦) の順位はそのグループ内での勝者を 2 点、敗者を 1 点、不戦敗を 0 点とした試合得点を与えるものとし、試合得点の多い順に順位を決定する。
- 2) 同一グループ内で 3 チームの試合得点と同じ場合は、行われた全マッチの比率計算 (勝÷負) による。
- 3) 2) が同率の場合、行われた全ゲームの比率計算による。
- 4) 全ゲームが同率の場合、行われた全試合のポイントの比率計算によるものとする。

(ホ) 表彰

- 1) 第 2 ステージ (1 位トーナメント) の 1～3 位 (ベスト 4) を表彰する。

②個人戦(ダブルス)

(イ) 試合方法

2 名の合計年齢で下記 4 種目とし、各種目毎に 3～4 組で第 1 ステージ (リーグ戦) を行い、各リーグ 1 位の組による第 2 ステージ (トーナメント) を行う。(尚、参加数によってはリーグ 2・3(4)位による第 2 ステージ (トーナメント) を行う場合がある。)

- A. 合計年齢 60～109 歳
- B. 合計年齢 110～125 歳
- C. 合計年齢 126 歳以上
- D. 合計年齢 140 歳以上 (各々の年齢が 70 歳以上であること)

※年齢は、平成 31 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者である事。

※合計年齢の多いペアが合計年齢の少ない種目への出場を認め、予選方法については各都道府県に一任する。

(ロ) 表彰

第 2 ステージ (1 位トーナメント) の 1～3 位 (ベスト 4) を表彰する。

- (10) 競技日程
- | | | |
|----------|--------|----------------------|
| 7月27日(金) | 14:00～ | 監督会議 |
| | 15:00～ | 開会式 |
| 28日(土) | 9:00～ | 団体第1ステージ(リーグ戦) |
| | | 第2ステージ(トーナメント) 1・2回戦 |
| | | 個人第1ステージ(リーグ戦) |
| | | 第2ステージ(トーナメント) 1・2回戦 |
| 29日(日) | 9:00～ | 団体・個人、第2ステージ |
| | 14:30～ | 閉会式(試合進行により前後あり) |

- (11) 競技ルール
- ① 現行の日本卓球ルールによる。
 - ② 卓球台はブルーを使用する。
 - ③ 同色のユニホームによる対戦をさけるため2種類以上の色の違うユニホームを持参すること。
 - ④ 使用球は、J T T A公認プラスチック球；40 mmホワイトのみとする。
 - ⑤ ゼッケンは本会が交付したものをを使用すること。

- (12) 参加資格
- ① 団体戦
- (イ) 平成30年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。監督・コーチは役員登録、選手は選手登録をする。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
 - (ロ) 編成チームのメンバーは原則として同一クラブに所属していること。但し、同一クラブで年齢制限等により編成ができない場合に限り、当該加盟団体長の承認があれば同一都道府県内において混成クラブでのチーム編成ができる。(隣接都道府県での編成は認めない)
 - (ハ) 同一クラブで、A/B/C…などに区分して予選に出場することができる。但し、代表決定後A/B/Cのチーム間で選手交換することはできない。
 - (ニ) 参加年齢は30歳以上の女性とする。(監督、コーチはこの限りではない。)
年齢は、平成31年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。
30歳以上 平成元年(昭和64年)4月1日以前に生まれた者であること。
40歳以上 昭和54年4月1日以前に生まれた者であること。
50歳以上 昭和44年4月1日以前に生まれた者であること。
60歳以上 昭和34年4月1日以前に生まれた者であること。
 - (ホ) 参加チームは各都道府県加盟団体主催の予選会を通過したチームとし、各都道府県の代表として参加すること。予選会の方法は加盟団体に一任する。
 - (ヘ) 選手は第37回全日本クラブ卓球選手権大会(平成30年度)と本大会に重複出場することはできない。(但し、予選会は除く)
 - (ト) 監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議の終了までに届を提出する(選手変更は2名までとする)。監督会議後の変更は認められない。なお予選会で敗れたチームからの交換補充はできない。
 - (チ) 前年度ベスト8のチームは、チーム構成に前年度出場選手4名を含めることを条件に推薦出場できる。(表1)
- ② 個人戦
- (イ) 上記団体戦資格に準ずる。但し、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
 - (ロ) 団体戦参加者(登録者)は出場できない。
 - (ハ) 第37回全日本クラブ卓球選手権大会と本大会に重複しての出場はできない。
(但し、予選会は除く)
 - (ニ) 前年度各種目のベスト4のペア(表1)は該当する合計年齢の種目に無条件出場することができる。

(13) 参加数

都道府県名	団体戦	個人戦 (ダブルスA)	個人戦 (ダブルスB)	個人戦 (ダブルスC)	個人戦 (ダブルスD)
富山(開催地)、東京、愛知、福岡	4	4	4	4	2
北海道、埼玉、神奈川、静岡、京都	3	3	3	3	
千葉、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、長崎、大分、鹿児島	2	2	2	2	1
その他の県	1	1	1	1	

※主管地は、総出場数が参加枠を満たさず運営規模に余力があると判断したときは、独自の判断で参加数を増やすことができる。なお、そのチーム選出については、本会と主管団体で別途協議する。

- (14) 参加料 団体戦 1チーム 20,000円
個人戦(ダブルス) 1組 4,000円
- (15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。
尚、参加料は現金書留郵便または振込にて(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先:みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会)
(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)
※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。(メールアドレスは、申込書に記載。)
〔I〕 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL:03-3481-2371、FAX:03-3481-2373
〔II〕 〒950-0994 富山県富山市下夕林 174-1 森 敏之 気付
富山県卓球協会 宛
TEL:076-468-3054 FAX:076-468-3058
Eメール:taku-mori@grape.plala.jp
なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。
- (16) 申込締切 平成30年6月5日(火)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (17) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18) その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②開会式には原則として全員参加すること。
③監督会議:日時 7月27日(金)14:00~ 場所 富山市総合体育館 会議室
④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受けることが望ましいです。
⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

表1

〔団体の部〕 ◎1位トーナメント	
1位. 花野井クラブ (千葉)	5位. 美鷹クラブENJOY (東京)
2位. チャイム (神奈川)	5位. すばる (東京)
3位. 所沢レディース (埼玉)	5位. 駒場クラブ (埼玉)
3位. 狭山フレンズ (埼玉)	5位. 翡翠 (大阪)
〔ダブルスの部〕 a. 合計年齢60~109歳	
1位. 藤澤 幸子 (奥州クラブ・岩手)	3位. 鈴木 理子 (サクセス・愛知)
佐藤亜由美 (奥州クラブ・岩手)	鯉江 明美 (サクセス・愛知)
2位. 鬼久保光子 (上尾TRC・埼玉)	3位. 十川 早苗 (さくら卓研・徳島)
渡辺久美子 (上尾TRC・埼玉)	井関佳余子 (四国放送サービス・徳島)
〔ダブルスの部〕 b. 合計年齢110~125歳	
1位. 中島 和子 (浜卓会・神奈川)	3位. 伊東 幸 (ラビット・愛知)
武藤 和美 (浜卓会・神奈川)	宮前 康子 (ラビット・愛知)
2位. 大羽さとみ (ビギン・福岡)	3位. 池本 令子 (ブラックパインズ・愛知)
宮崎 綾子 (ビギン・福岡)	石川さちえ (ブラックパインズ・愛知)
〔ダブルスの部〕 c. 合計年齢126歳以上	
1位. 持田 恵子 (サクセス・愛知)	3位. 溝口多恵子 (めだかクラブ・岡山)
船ヶ山昌子 (サクセス・愛知)	森本 英子 (めだかクラブ・岡山)
2位. 安藤 洋子 (杉並卓球クラブ・東京)	3位. 武田 幸子 (今治モナリザ・愛媛)
三浦 弘子 (杉並卓球クラブ・東京)	阿部千香子 (今治モナリザ・愛媛)
〔ダブルスの部〕 d. 合計年齢140歳以上 (各々が70歳以上)	
1位. 藤井スズ子 (北卓友会・大阪)	3位. 浜田 キエ (エムクラブ・愛知)
田野原愛子 (南湊クラブ・大阪)	高塚多美子 (エムクラブ・愛知)
2位. 森 八重子 (全横会・神奈川)	3位. 西川 雅子 (つばさクラブ・愛知)
和久井志津子 (全横会・神奈川)	細江 聡代 (幹城会・愛知)

第 36 回全国ホープス卓球大会 実施要項

- (1) 名 称 第 36 回全国ホープス卓球大会
- (2) 期 日 平成 30 年 8 月 14 日 (火) ～16 日 (木)
- (3) 会 場 エスフォルタアリーナ八王子 (京王線「狭間」駅 下車 1 分)
〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1453-1 TEL: (042) 662-4880 FAX: (042) 662-1501
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 東京都卓球連盟
- (6) 後 援 東京都教育委員会、(公財) 東京都体育協会、全国新聞社事業協議会 (予定)
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①チームはクラブ単位とし、監督(引率者) 1 名、コーチ 1 名、選手 3～4 名で編成する。
但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。
②4 シングルス・1 ダブルス (3 番にダブルス) の 3 点先取で勝敗を決める。
③ABC か XYZ をトスで決め、3 名か 4 名の選手で次のオーダー順序によって試合を行う。

(3 名の場合)	1	2	3	4	5	(4 名の場合)	1	2	3	4	5
ABC チーム	A	B	BC	A	C	ABC チーム	A	B	CD	A	C
XYZ チーム	X	Y	XZ	Y	Z	XYZ チーム	X	Y	WZ	Y	Z

④4 チームによる第 1 ステージ (リーグ戦) とその 1 位・2 位チームによる第 2 ステージ (決勝トーナメント) を行う。
- (9) 競技日程
- | | | | |
|--------------|-------|---|---|
| 8 月 14 日 (火) | 10:40 | ～ | 監督会議 |
| | 12:30 | ～ | 開会式 |
| | 13:30 | ～ | 男女第 1 ステージ (リーグ戦) |
| 15 日 (水) | 9:30 | ～ | 男女第 1 ステージ (リーグ戦) と
第 2 ステージ (決勝トーナメント) (1・2 回戦) |
| 16 日 (木) | 9:30 | ～ | 第 2 ステージ (決勝トーナメント) (準々決勝 ～ 決勝) |
| | 14:00 | ～ | 閉会式 (予定) |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
④ゼッケンは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤同じユニホームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①選手・監督・コーチは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会に登録したものであること。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する都道府県の出場チームにおいて登録をしていること。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
②選手は平成 18 年 4 月 2 日以降に生まれたものであること。
③登録の単位はクラブとし、同一クラブから複数のチームが出場できる。なお、クラブと他クラブの混成チームは認めない。
④1 つのクラブの選手は全て同じ都道府県の選手登録者であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できるものとする。
⑤監督 (引率者) は協会に役員登録されているチームの代表者で責任のもてる人であること。
⑥予選会で敗れたチームのメンバーになっていた選手が、同一クラブのチームが代表となったからといって、その選手を代表チームメンバーへと変更することはできない。
⑦監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議の終了までに届を提出する。監督会議後の変更は認められない。
- (12) 表彰 ①一次ステージ (リーグ戦) 各ブロックの 1 位チームを表彰する。
②決勝トーナメント 1～3 位 (ベスト 4) まで表彰する。

(13) 参加数 次表の通り。

都道府県名	チーム数
東京（開催地）、北海道、青森	男女各3
秋田、山形、福島、新潟、静岡、愛知、岐阜、大阪、鳥取、広島、福岡	〃 2
その他の府県	〃 1

{参加枠算出基準} 平成 29 年度小学生競技者登録者数 上位 2 都道府県 : 3 チーム
 〃 上位 3~14 都道府県 : 2 チーム (開催地+1)
 〃 その他 : 1 チーム

代表チームの選出は各都道府県予選を原則とし、都道府県選抜チームは認めない。定数に満たない場合の補充は（公財）日本卓球協会が別途考慮する。開催地は男女各 1 チームプラスして参加できる。

(14) 参加料 1 チーム 10,000 円

(15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

※できる限り、下記 2ヶ所へ Eメールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
 （公財）日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-18-5 中央第 7 西新宿ビル 402 号室
 東京都卓球連盟 宛

TEL (03) 5389-2965、FAX (03) 5389-2987

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAX で送付。

(16) 申込締切 平成 30 年 6 月 26 日（火）

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(17) 宿 泊 後日、東京都卓球連盟ホームページにて案内する。

(18) その他 ①監督会議 (イ) 日時：8 月 14 日（火） 10:40～

(ロ) 場所：エスフォルタアリーナ サブアリーナ

②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

③病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。

④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

※10 年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。

※ブロック大会については、開催ブロックに要項を一任する。

第 52 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 52 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 30 年 9 月 15 日 (土) ～17 日 (月・祝)
- (3) 会 場 アミノバリューホール (鳴門県民体育館)
JR「鳴門」駅 徒歩約 16 分
〒772-0017 徳島県鳴門市撫養町立岩字四枚 61
TEL : 088-685-3131
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 徳島県卓球協会、鳴門市卓球協会
- (6) 後 援 徳島県、徳島県教育委員会、(公財) 徳島県体育協会、鳴門市、鳴門市教育委員会、鳴門市体育協会、
(予定) 徳島新聞社、四国放送
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。
(ダブルスのスーパーシードは設けない)
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 9 月 15 日 (土) 9:00～ 開会式
9:30～ 男女ダブルス (1～5 回戦)
男女シングルス (1 回戦の一部)
16 日 (日) 9:00～ 男女シングルス (1～5 回戦)
男女ダブルス (準決勝・決勝)
17 日 (月) 9:00～ 男女シングルス (6 回戦～決勝)
15:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
⑤ゼッケンは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程 (注 1 参照) に定められた有段者であること。
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
③学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒 (大学院生は除く) は出場できない。
④勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部^{に在籍、及び}、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものは参加できる。
⑤本年度の全日本卓球選手権大会 (マスターズの部) への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
⑥各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
⑦外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き 10 年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑧無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ) 平成 29 年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女シングルスベスト 16 の者。
- (ロ) 平成 29 年度全日本卓球選手権大会（一般の部）
男・女シングルスベスト 16 の者。
- (ハ) クラブ委員会からの推薦者男・女各 2 名
平成 30 年度全日本クラブ選手権大会終了後に決定する。

◎ダブルスの部

- (イ) 平成 29 年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト 8 の組。
- (ロ) 平成 29 年度全日本卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト 8 の組

(12) 参加人員 表 1

区 分	種 目 都 道 府 県 名	男	女	男	女
		子 シ ン グ ル ス	子 シ ン グ ル ス	子 ダ ブ ル ス	子 ダ ブ ル ス
1	徳島(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡	10	10	5	5
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	8	8	4	4
3	大阪、兵庫、岡山、長崎	6	6	3	3
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、 富山、石川、三重、岐阜、滋賀、奈良、鳥取、島根、広島、山口、香川、 愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	2	2
5	青森、宮城、福井、和歌山	2	2	1	1

区分 1：開催県及び平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員上位 4 加盟団体

区分 2：平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員 5～8 位加盟団体

区分 3：平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員 9～12 位加盟団体

区分 4：区分 1・2・3・5 に該当しない加盟団体

区分 5：平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員が 1 位加盟団体の 1 割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料 シングルス 1名 3,000 円

ダブルス 1組 4,000 円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

※できる限り、下記 2ヶ所へ Eメールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

〔Ⅱ〕〒770-0944 徳島県徳島市南昭和町 4 丁目 44-27 榎並 正人 気付

徳島県卓球協会 宛

TEL: (090) 9555-5314 FAX: (088) 625-3128

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAX で送付。

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

(15) 申込締切 平成 30 年 7 月 23 日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
 - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
 - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
 - ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。
 - ⑦ 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

別表 1

第 51 回（平成 29 年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	1	松澤茉里奈	(岐阜)	十六銀行
2	丹羽 孝希	(東京)	スヴェンソン	2	鈴木 李茄	(茨城)	日立化成
3	平野 友樹	(東京)	協和発酵キリン	3	平 侑里香	(東京)	サンリツ
4	高木和 卓	(東京)	東京アート	4	森蘭 美咲	(東京)	日立化成
5	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン	5	平田 有貴	(静岡)	アスモ
6	御内健太郎	(東京)	シチズン時計	6	馬場 麻裕	(静岡)	アスモ
7	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	7	松平 志穂	(大阪)	ミキハウス
8	軽部 隆介	(東京)	シチズン時計	8	久野 理世	(岐阜)	十六銀行
	神 巧也	(東京)	シチズン時計		森蘭 美月	(東京)	サンリツ
	加藤 由行	(東京)	フジ		土田 美佳	(広島)	中国電力
ベ	時吉 佑一	(東京)	ZEOS	ベ	宋 恵佳	(広島)	中国電力
ス	高岡諒太郎	(東京)	リコー	ス	田代 早紀	(大阪)	日本生命
ト	有延 大夢	(東京)	リコー	ト	松本 優希	(東京)	サンリツ
16	鹿屋 良平	(東京)	リコー	16	平野 容子	(愛知)	豊田自動織機
	山本 勝也	(東京)	リコー		天野 優	(東京)	サンリツ
	飯野 弘義	(東京)	T. O. M&卓球三昧		永尾 堯子	(静岡)	アスモ
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{ 森田 侑樹	(東京)	シチズン時計	1	{ 土田 美佳	(広島)	中国電力
	{ 神 巧也	(東京)	シチズン時計		{ 宋 恵佳	(広島)	中国電力
2	{ 張 一博	(東京)	東京アート	2	{ 平田 有貴	(静岡)	アスモ
	{ 高木和 卓	(東京)	東京アート		{ 永尾 堯子	(静岡)	アスモ
3	{ 松下 海輝	(和歌山)	日鉄住金物流	3	{ 加藤 知秋	(岐阜)	十六銀行
	{ 藤村 友也	(和歌山)	日鉄住金物流		{ 加藤 杏華	(岐阜)	十六銀行
4	{ 松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	4	{ 大矢未早希	(東京)	サンリツ
	{ 森本 耕平	(東京)	協和発酵キリン		{ 天野 優	(東京)	サンリツ
5	{ 松生 直明	(東京)	リコー	5	{ 久野 理世	(岐阜)	十六銀行
	{ 山本 勝也	(東京)	リコー		{ 大森 玲奈	(岐阜)	十六銀行
6	{ 北村 祐馬	(神奈川)	信号器材	6	{ 三宅菜津美	(広島)	中国電力
	{ 北原 大輝	(神奈川)	信号器材		{ 成木 綾海	(広島)	中国電力
7	{ 横山 輝	(広島)	原田鋼業	7	{ 土井みなみ	(広島)	中国電力
	{ 徳島 剛	(広島)	原田鋼業		{ 土田 美紀	(広島)	中国電力
8	{ 大矢 英俊	(東京)	東京アート	8	{ 平 真由香	(茨城)	日立化成
	{ 王 凱	(東京)	東京アート		{ 牛嶋 星羅	(茨城)	日立化成

平成 29 年度全日本卓球選手権大会ランキングによる推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー	1	伊藤 美誠	(大阪)	スターツSC
2	水谷 隼	(東京)	木下グループ	2	平野 美宇	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
3	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	3	永尾 堯子	(静岡)	アスモ
4	松平 健太	(東京)	木下グループ	4	石川 佳純	(山口)	全農
5	渡辺 裕介	(高知)	明治大学	5	松澤茉莉奈	(岐阜)	十六銀行
6	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	6	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
7	大島 祐哉	(東京)	木下グループ	7	森 さくら	(大阪)	日本生命
8	神 巧也	(東京)	シチズン時計	8	石垣 優香	(大阪)	日本生命
9	吉田 雅己	(東京)	協和発酵キリン	9	安藤みなみ	(東京)	専修大学
10	藤村 友也	(和歌山)	日鉄住金物流	10	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
11	田添 健汰	(東京)	専修大学	11	早田 ひな	(福岡)	日本生命
12	上村 慶哉	(東京)	早稲田大学	12	大矢未早希	(東京)	サンリツ
13	龍崎 東寅	(東京)	明治大学	13	森蘭 美月	(東京)	サンリツ
14	岸川 聖也	(千葉)	ファースト	14	前田 美優	(大阪)	日本生命
15	定松 祐輔	(福岡)	中央大学	15	土井みなみ	(広島)	中国電力
16	田添 響	(福岡)	専修大学	16	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	水谷 隼	(東京)	木下グループ	1	早田 ひな	(福岡)	日本生命
	大島 祐哉	(東京)	木下グループ		伊藤 美誠	(大阪)	スターツSC
2	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	2	梅村 優香	(大阪)	四天王寺高校
	吉田 雅己	(東京)	協和発酵キリン		塩見 真希	(大阪)	四天王寺高校
3	藤村 友也	(和歌山)	日鉄住金物流	3	田代 早紀	(大阪)	日本生命
	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学		前田 美優	(大阪)	日本生命
4	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園	4	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー		橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
5	丹羽 孝希	(東京)	スヴェンソン	5	中尾 優子	(三重)	エクセディ
	酒井明日翔	(東京)	明治大学		樺澤 かえ	(三重)	エクセディ
6	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	6	土田 美佳	(広島)	中国電力
	森本 耕平	(東京)	協和発酵キリン		末 恵佳	(広島)	中国電力
7	張 一博	(東京)	東京アート	7	三宅菜津美	(広島)	中国電力
	高木和 卓	(東京)	東京アート		成木 綾海	(広島)	中国電力
8	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	8	大矢未早希	(東京)	サンリツ
	渡辺 裕介	(東京)	明治大学		天野 優	(東京)	サンリツ

クラブ委員会推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 ()	1 ()
2 ()	2 ()

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)

③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約 (平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者	6 段

第 73 回国民体育大会（卓球競技） 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。

(1) 期日 平成 30 年 9 月 29 日（土）～10 月 3 日（水）まで（5 日間）

種 別	9月29日(土)	9月30日(日)	10月1日(月)	10月2日(火)	10月3日(水)
成年男子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準々決勝	準決勝・決勝
成年女子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準決勝・決勝
少年男子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準決勝・決勝
少年女子	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝・決勝

(2) 会場 「敦賀市総合運動公園体育館」 〒914-0823 福井県敦賀市杵見 149 号 1 番地 TEL : 0895-25-0063

(3) 種別及び参加人員

種 別	監督	選手	参加都道府県	小計	合計
成年男子	1	3	32	128	460
成年女子	1	3	16	64	
少年男子	1	3	20	80	
少年女子	1	3	47	188	

※成年男子および成年女子の監督は選手を兼ねることができる。

(4) 競技上の規定及び方法

①競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。

②試合方法

(ア) 少年女子はトーナメント方式によって勝敗を決め、成年男子、成年女子及び少年男子は、1次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。なお、1次リーグ戦は、成年男子は各4チーム8グループ、成年女子は各4チーム4グループ、少年男子は各5チーム4グループに分け、各グループ1位チームが決勝トーナメントに進む。

(イ) 各種別とも3名の選手からなる。5シングルスで試合を行う。ただし、外国籍の選手はC又はZのみの出場とする。

	1	2	3	4	5
ABCチームは	1、A	2、B	3、C	4、A	5、B
XYZチームは	1、X	2、Y	3、Z	4、Y	5、X

(ウ) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球：40mmホワイトのみとする。

(5) 予選方法

①都道府県大会

(ア) 都道府県大会は、(公財)日本卓球協会加盟の各都道府県協会が主管して実施し、期日、実施方法については当該都道府県体育協会と協議して決定する。

(イ) 期日は、7月下旬までに終了すること。

②ブロック大会

(ア) ブロック大会を実施する種別は、成年男子、成年女子及び少年男子の3種別とする。少年女子は、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

(イ) ブロック大会区分及び都道府県数は下表のとおりとし、当番県を定めて実施する。当番県はブロック大会の結果にプログラムを添えて、実施後速やかに(公財)日本卓球協会宛連絡する。

(ウ) ブロック大会の開催地については、各ブロックに一任する。

③都道府県代表選手の選考について

都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。但し、事情により都道府県大会を実施できない場合、あるいは都道府県大会に参加できない場合には、下記(ア)、(イ)の選考方法が認められる。なお、やむを得ない事情により都道府県大会等を実施できない場合は、事前にその事情について(公財)日本卓球協会と協議し、了承を得ておくこと。(ここで、都道府県大会等とは、国体予選会、都道府県選手権、その他の予め指定した競技会、都道府県内ランキングなどを指す。)また、選手が都道府県大会等に参加できない場合とは具体的にどのような場合のことを指すのか事前に(公財)日本卓球協会の了承を得た上で、周知することとする。(ここで「参加できない場合」とは具体的に、全国大会出場、日本リーグ出場、学生リーグ出場、海外遠征、ナショナルチーム強化合宿参加などをいう。)

(ア) 選出基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は都道府県に任される。

(イ) ブロック大会を実施する種別で、当該都道府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際に参加した者に代えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合、その者が当該都道府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。なお、ここでいう「参加」には、「当該都道府県が予め(公財)日本卓球協会に対して了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。

(ウ) トップアスリートの特例処置を別記1のように定める。

※予選会免除対象大会（予定：日体協の4月承認により）

第18回アジア競技大会卓球競技

2018世界卓球選手権大会

2018アジアジュニア卓球選手権大会

④ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子
北海道	北海道	1	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	4	2	2
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	6	2	3
北信越	新潟・長野・富山・石川	3	2	2
東海	静岡・愛知・三重・岐阜	2	1	2
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	4	2	2
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	3	2	2
四国	香川・徳島・愛媛・高知	2	1	2
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	6	2	3
開催地	福井	1	1	1
	計	32	16	20

(6)参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

①参加資格

(ア)日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。

(1)出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者

(2)学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒。ただし、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生（主に高校生）及び家族滞在（中学3年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に一年以上在籍していること。また、留学生（主に大学生）については、参加できない。

(3)参加しようとする当該年以前に前号(2)の規定に該当していた者。

(イ)各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

(ウ)第71回大会又は第72回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き第71回大会又は第72回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(1)平成29年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

(2)結婚及び離婚に係る者

(3)ふるさと選手制度を活用する者（成年種別）：「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

（注）別記2「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

(4)一家転住に係る者（少年種別）：「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。

(5)JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記2「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」による。（少年種別））

(エ)選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

(オ)前記のほか、選手については次のとおりとする。

(1)参加選手は冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

(2)回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(3)健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(4)ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

(カ)監督は以下の何れかを満たす者とする。また同時に、公認審判員以上の審判員資格を有していること。

(1)日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球上級コーチ資格を有する者

(2)日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ資格を有する者

(3)日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球上級指導員資格を有する者

②所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

<成年種別>

(ア)居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）

(イ)勤務地

(ウ)ふるさと（国民体育大会ふるさと選手制度による）

（注）別記2「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

※大学生の場合にあつては、居住地を示す現住所またはふるさとのいずれかを選ぶことができる。ただし、ふるさとの場合、「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

〈少年種別〉

(7)居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）

(4)学校教育法第1条に規定する学校の所在地

(7)勤務地

(エ)「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」（別記2）に定める小学校の所在地

※上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成30年4月30日以前から本大会終了時まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、勤務又は通学していなければならない。但し、次の者はこの限りではない。

- ・〈成年種別〉 a: 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例処置」の適用を受ける場合
b: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合
- ・〈少年種別〉 a: 「一家転住」した場合
b: 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受ける場合
c: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合

③選手の年齢基準

(7)成年種別に参加する者は、平成12年4月1日以前に生まれた者とする。

(4)少年種別に参加する者は、平成12年4月2日から平成16年4月1日までの間に生まれた者とする。

(中学3年生を含む)

④前記の各事項に疑義のあるときは、（公財）日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、（公財）日本体育協会がその可否を決定する。

(7)総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。但し、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

①競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子	成年女子	各種別とも1位24点、 2位21点、
成年女子		
少年男子	少年女子	3位（2チーム）各16.5点、
少年女子		5位（4チーム）各7.5点、の競技得点を与える

②参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(8)表彰

- ①男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- ②男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- ③各種別の第1位から第5位（4チーム）までに賞状を授与する。なお、成年女子及び少年男子の種別については、1次リーグ各グループの2位チームを5位入賞とし、成年男子及び少年女子については、準々決勝で敗退したチームを5位入賞とする。

(9)参加申込み方法

- ①所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要事項を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成30年9月5日（水）までに申込手続きを完了すること。
- ②締切期限以降は所定の Web ページ（国民体育大会参加申込窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- ③参加申込選手が、不可抗力以外で無断で本大会の出場を棄権した場合は、その後の本大会出場を停止する。
- ④申込締切り後の変更は認めない。ただし、疾病、事故等特別の場合には、所定の文書による申し出を受け、審査のうえ決定する。申し出は、監督会議前までとし、参加申込書に記載された予備登録選手に限る。

所定の交代（変更）届の送付先は下記宛とする。

ア、〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 TEL：03-3481-2371 FAX：03-3481-2373

イ、〒910-0004 福井県福井市宝永2丁目4-10 宝永分庁舎2階

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会事務局

（福井県国体推進局競技式典競技グループ）

TEL：0776-20-0746 FAX：0776-20-5058

ウ、〒914-0823 福井県敦賀市杵見149号1番地 敦賀市総合運動公園内

福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会敦賀市実行委員会事務局

（敦賀市教育委員会国体推進課内）

TEL：0770-22-8255 FAX：0770-47-5282

なお、（公財）日本体育協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

(10)その他 ①組合せ抽選会

日時 平成30年9月8日(土) 午後2時
場所 岸記念体育会館
〒150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1番1号
TEL:03-3481-2371 FAX:03-3481-2373

②監督会議

日時 平成30年9月28日(金) 午後3時
場所 敦賀市総合運動公園体育館
〒914-0823 福井県敦賀市杓見149-1
TEL:0770-23-6638 FAX:0770-23-6809

③表彰式

成年男女第5位表彰式

日時 平成30年10月2日(火) 午後2時
場所 敦賀市総合運動公園体育館
〒914-0823 福井県敦賀市杓見149-1
TEL:0770-23-6638 FAX:0770-23-6809

少年男女第5位表彰式

日時 平成30年10月2日(火) 午後5時
場所 敦賀市総合運動公園体育館
〒914-0823 福井県敦賀市杓見149-1
TEL:0770-23-6638 FAX:0770-23-6809

成年男女・少年男女表彰式、総合表彰式

日時 平成30年10月3日(水) 午後3時
場所 敦賀市総合運動公園体育館
〒914-0823 福井県敦賀市杓見149-1
TEL:0770-23-6638 FAX:0770-23-6809

別記1【トップアスリートの大会参加資格の特例処置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例処置」を定める。

(1)対象者

ア 大会開催の直前に開催されたオリンピック競技大会に参加した者。

イ 大会開催年の4月30日時点で、本特例の対象として認めた者。

JOCオリンピック強化指定選手

国内ランキング上位10位以内(平成31年度より廃止)

強化指定選手

*対象者につきましては今後、公益財団法人日本体育協会と調整、決定させていただきます。

(2)内容

特例の対象となる選手は、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

別記2【JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOCエリートアカデミー」に係る選手のうち、下記(1)に該当するものについては、開催基準要項細則第3項及び「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、下記(2)～(4)の特例を適用する。

(1)対象者

ア 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者

イ 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2)少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「(ア)居住地を示す現住所」、「(イ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「(ウ)勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3)成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4)国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

(注)(1)イに定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

平成 30 年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部） 実施要項

- (1) 名称 平成 30 年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）
 (2) 期日 平成 30 年 10 月 26 日（金）～28 日（日）
 (3) 会場 エコパアリーナ（JR「愛野」駅 から徒歩約 15 分）
 〒437-0031 静岡県袋井市愛野 2300-1
 TEL：0538-41-1800
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主管 静岡県卓球協会、袋井卓球協会、掛川卓球協会、磐田卓球協会
 (6) 後援 静岡県、静岡県教育委員会、（公財）静岡県体育協会、袋井市、掛川市、磐田市、袋井市教育委員会、掛川市教育委員会、磐田市教育委員会、（一社）袋井市スポーツ協会、NPO 法人掛川市体育協会、NPO 法人磐田市体育協会、静岡新聞社、静岡放送（予定）
- (7) 競技種目
- | | | | |
|-------------|----------|-------------|----------|
| ①男子サーティ | (30 歳以上) | ②女子サーティ | (30 歳以上) |
| ③男子フォーティ | (40 歳以上) | ④女子フォーティ | (40 歳以上) |
| ⑤男子フィフティ | (50 歳以上) | ⑥女子フィフティ | (50 歳以上) |
| ⑦男子ローシックスティ | (60 歳以上) | ⑧女子ローシックスティ | (60 歳以上) |
| ⑨男子ハイシックスティ | (65 歳以上) | ⑩女子ハイシックスティ | (65 歳以上) |
| ⑪男子ローセブントィ | (70 歳以上) | ⑫女子ローセブントィ | (70 歳以上) |
| ⑬男子ハイセブントィ | (75 歳以上) | ⑭女子ハイセブントィ | (75 歳以上) |
| ⑮男子ローエイティ | (80 歳以上) | ⑯女子ローエイティ | (80 歳以上) |
| ⑰男子ハイエイティ | (85 歳以上) | ⑱女子ハイエイティ | (85 歳以上) |
- (8) 試合方法 各種目ともすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチとし、第 1 ステージは 3～4 名によるリーグ戦、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者によるトーナメント方式とする。
 前年度ランキング選手であっても、第 1 ステージ・リーグ戦から出場するものとする。
※平成 31 年度（2019 年）より各種目ともすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチのトーナメント方式で行う。
- (9) 競技日程
- | | | |
|------------|--------------|--|
| 開会式 | 10 月 26 日（金） | 9:00～ |
| （予定）
競技 | 26 日（金） | 60 代、65 代、70 代、75 代、80 代、85 代 |
| | 27 日（土） | 30 代、40 代、50 代、60 代、65 代、70 代、75 代、80 代、85 代 |
| | 28 日（日） | 30 代、40 代、50 代 決勝まで |
| 閉会式 | 28 日（日） | 16:00～（予定） |

※競技日程はあくまでも予定ですので組合せ決定後変更になる場合があります。

- (10) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
 - ②粒高、アンチ（系）ラバーの使用制限はない。
 - ③卓球台はブルーもしくはグリーンを使用する。
 - ④使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40mm ホワイトのみとする。
 - ⑤同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
 - ⑥ゼッケンは平成 30 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
 - ⑦ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 30 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。但し、70 歳以上の種目に出場する者は有段者でなければならないが、その段位は問わない。
 - ②年齢は、平成 31 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者である事。

(イ)サーティ (30 歳以上)	平成元年（昭和 64 年）4 月 1 日以前に生まれた者。
(ロ)フォーティ (40 歳以上)	昭和 54 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ハ)フィフティ (50 歳以上)	昭和 44 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ニ)ローシックスティ (60 歳以上)	昭和 34 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ホ)ハイシックスティ (65 歳以上)	昭和 29 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ヘ)ローセブントィ (70 歳以上)	昭和 24 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ト)ハイセブントィ (75 歳以上)	昭和 19 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(チ)ローエイティ (80 歳以上)	昭和 14 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(リ)ハイエイティ (85 歳以上)	昭和 9 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 - ③全日本社会人卓球選手権大会出場者の本大会への重複出場は禁止する。但し、ダブルスのみ全日本社会人選手権大会への重複出場を認める。
 - ④各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
 - ⑤外国籍選手は出場できない。但し、日本で出生し、引続き 3 年以上日本に在住している者、または引続き日本に 10 年以上在住している者はこの限りではない。
 - ⑥各シングルス種目への参加は一人一種目とする。
 - ⑦無条件参加選手（別表参照）
 平成 29 年度全日本社会人卓球選手権大会の男女シングルスベスト 16 の者で満 30 歳に達した者および年齢別種目のランキング保持者は当該年齢種目または下の年代の種目の 1 つに出場できるものとする。

(12) 参加人員：

区分	種目 都道府県名	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
		サーティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ	ティ
1	静岡（開催地）、北海道、東京、愛知、福岡	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2	埼玉、神奈川、京都	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3	大阪、兵庫、岡山、長崎	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、富山、石川、三重、岐阜、滋賀、奈良、鳥取、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5	青森、宮城、福井、和歌山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

無制限

区分1：開催県及び平成29年度日卓協一般男女選手登録人員上位4加盟団体

区分2：平成29年度日卓協一般男女選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成29年度日卓協一般男女選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成29年度日卓協一般男女選手登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの選手登録人員を含む

※上記の無条件参加資格をもつ選手が、本大会の都道府県予選会に申し込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものと取り扱う。

(13) 参加料 1名 3,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03)3481-2371、FAX：(03)3481-2373

〔Ⅱ〕 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田5-9-26 土屋 明 気付
静岡県卓球協会 宛

TEL/FAX：(053)523-6999

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。

(15) 申込締切 平成30年9月3日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) そ の 他

①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。

②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

③開会式には原則として全員参加すること。

④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事が望ましいです。

⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑥個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦当該年度に100歳に達した選手を特別表彰する。

【別表1】平成29年度全日本選手権大会（マスターズの部）ランキング

男子サーティ				女子サーティ			
1	高木和健一	(東京)	千代田クラブ	1	坂本直子	(長野)	スワンクラブ
2	大塚裕貴	(千葉)	流山アストロズ	2	平澤優加	(東京)	TEAM ZERO
3	藤森勇貴	(兵庫)	ALLSTAR&ふじもりTTC	3	海老原杏子	(東京)	Lili
4	桑原勇希	(長野)	岡谷市役所	4	飯田嘉代	(京都)	NEX' TAGE
5	藤井貴文	(東京)	ウイニングクラブ	5	渡辺理江	(新潟)	亀田クラブ
6	横山友一	(岡山)	Y. Y LINK	6	大野恵子	(愛知)	Ahsh. TTC
7	安保慧太	(北海道)	北海道アスティータ	7	籠島志野	(新潟)	新大クラブ
8	井上裕介	(岡山)	OKT	8	吉田真奈美	(東京)	卓精会
男子フォーティ				女子フォーティ			
1	柳延恒	(兵庫)	TEAM SATO	1	松村優美	(山梨)	甲斐路クラブ
2	荒木和敬	(福岡)	荒木卓球クラブ	2	島村美恵	(神奈川)	MD相模
3	笹岡光央	(新潟)	Rising Niigata	3	山崎玲奈	(青森)	日専連クラブ
4	枝広一志	(岡山)	関西クラブ	4	小野千代	(東京)	卓精会
5	岡野康幸	(岐阜)	太平洋工業	5	渡辺由希子	(東京)	美鷹クラブENJOY
6	大越弘之	(千葉)	卓修会	6	山下陽子	(東京)	美鷹クラブENJOY
7	加藤祐介	(埼玉)	鳩ヶ谷クラブ	7	信田真美	(北海道)	札幌unity
8	大貫譲司	(栃木)	卓心会	8	加藤美代	(東京)	飛鳥クラブ
男子フィフティ				女子フィフティ			
1	小野守	(神奈川)	梅屋敷卓球クラブ	1	廣瀬孝子	(大阪)	HPC
2	西田忠洋	(島根)	チームN・E・O	2	大津絵美子	(香川)	丸亀SC
3	山田昭仁	(静岡)	青嵐クラブ	3	後藤真理子	(京都)	都クラブ
4	花木友明	(沖縄)	琉球卓球クラブ	4	大嶋由美	(大阪)	八尾ひまわり
5	延地栄治	(兵庫)	小浜クラブ	5	矢野和代	(大分)	かぼすくらぶ
6	浜瀬充弘	(岡山)	岡山親卓会	6	渋谷文代	(神奈川)	alpha
7	渡邊均	(岡山)	Y. YR	7	新田由紀子	(北海道)	札幌unity
8	榎原浩之	(和歌山)	ナカタFC	8	大羽さとみ	(福岡)	ビギン
男子ローシックスティ				女子ローシックスティ			
1	河島国男	(東京)	九十九	1	船ヶ山昌子	(愛知)	サクセス
2	長谷川豊信	(東京)	卓精会	2	稲川佳代	(東京)	大田クラブ
3	具志堅一	(東京)	双葉苦楽部	3	高木和恵子	(東京)	千代田クラブ
4	江浜勲	(神奈川)	日産追浜	4	鶴田昌枝	(神奈川)	COLOR
5	杉原光治	(大阪)	笑福	5	日下部鈴子	(神奈川)	チャイム
6	小谷満	(兵庫)	龍卓会	6	坂本久美	(神奈川)	COLOR
7	坂本憲一	(福岡)	豊前JTC	7	十川早苗	(徳島)	さくら卓研
8	林賢治	(千葉)	八日市場クラブ	8	舟山かつえ	(埼玉)	駒場クラブ
男子ハイシックスティ				女子ハイシックスティ			
1	政本尚	(奈良)	清友クラブ	1	高橋邦子	(千葉)	千代田クラブ
2	勝英雄	(大阪)	清友クラブ	2	板谷典子	(大阪)	HPC
3	広浜泰久	(東京)	神馬クラブ	3	武田幸子	(愛媛)	今治モナリザ
4	吉田雄三	(高知)	ヨシダスポーツ	4	横山祐見子	(高知)	ピンボン館
5	三田村則明	(東京)	卓楓会	5	粟生京子	(東京)	冠雲クラブ
6	井津雅治	(東京)	友卓会	6	吉垣美保	(神奈川)	茶の実
7	長尾正之	(北海道)	ナガオスポーツクラブ	7	井置節子	(神奈川)	藤沢レディース
8	杉野卓男	(茨城)	フリーダムクラブ	8	金子好子	(千葉)	千城クラブ
男子ローセプンティ				女子ローセプンティ			
1	中村提見	(埼玉)	サザンクロス	1	持田恵子	(愛知)	サクセス
2	富金原修	(東京)	チームDREAM	2	宮下隆子	(埼玉)	大宮スカット
3	鈴木和久	(神奈川)	逗子クラブ	3	村川治子	(埼玉)	大宮スカット
4	中沢信介	(東京)	平沼クラブ	4	平賀須美子	(神奈川)	茶の実
5	岩崎健三	(広島)	サンスポーツクラブ	5	堀木雪子	(千葉)	市川市レディース
6	喜多信夫	(大阪)	PROJECT-K	6	宮内富士子	(埼玉)	ふじみ野市卓連
7	河内勉	(東京)	ブルーグリーン	7	井上順子	(大阪)	甲子園クラブ大阪
8	中村拓	(愛知)	名古屋マスターズ	8	関根芳子	(千葉)	市川市レディース

男子ハイセブンティ				女子ハイセブンティ			
1	黒田 幸彦	(宮 城)	仙台萩クラブ	1	松澤 勝南	(愛 知)	黎明クラブ
2	原田 武	(広 島)	ヒロタクススポーツ	2	池田 章子	(大 阪)	翡翠
3	玉山 昌右	(福 井)	福井ベテラン会	3	福島 正子	(埼 玉)	所沢レディース
4	和田 紘一	(神奈川)	球楽会	4	河路 悦子	(愛 知)	AFクラブ
5	竹内 俊夫	(京 都)	舞高クラブ	5	柴田 紀子	(東 京)	サザンスターズ
6	武山 嘉成	(東 京)	ブルーグリーン	6	大掛まさ美	(東 京)	イーグルス
7	宮地 和彦	(京 都)	京都悠遊会	7	山本 栄子	(京 都)	宇治クラブ
8	内山 洋一	(愛 知)	イースト	8	新谷美恵子	(大 阪)	こあら〜ず
男子ローエイティ				女子ローエイティ			
1	池内 祥治	(熊 本)	SEIZANクラブ	1	珠玖 幸子	(神奈川)	浜卓会
2	西村 正人	(山 口)	下松オールスターズ	2	酒見 トシ	(千 葉)	つくば国際SC
3	秋田 勝	(大 阪)	浜寺クラブ	3	長瀬ちづ子	(愛 知)	明誠クラブ
4	内田 薫雄	(兵 庫)	まるくらぶ	4	土屋 慶子	(東 京)	卓美会
5	中川 秀夫	(滋 賀)	彦卓会	5	小林 友枝	(大 阪)	翡翠
6	増田 和雄	(新 潟)	新発田クラブ	6	黒沼 茂子	(神奈川)	浜卓会
7	中井 政雄	(東 京)	ブルーグリーン	7	雀 花子	(東 京)	練馬茜
8	杉本 泰成	(富 山)	星球会	8	千本木ひろ子	(神奈川)	浜卓会
男子ハイエイティ				女子ハイエイティ			
1	正野 素行	(大 阪)	大阪ベテラン会	1	土佐 昭子	(神奈川)	浜卓会
2	唐橋 博	(東 京)	代々木クラブ	2	北波 輝	(大 阪)	情熱クラブ
3	神崎 榮藏	(宮 城)	柘江卓球同好会	3	手代木静子	(東 京)	卓研パートナー
4	濱 惣六	(長 野)	岡谷雷鳥クラブ	4	宮川 禮子	(東 京)	卓令
5	福見 章	(北海道)	大麻クラブ	5	田中登志美	(東 京)	team TANAKA
6	和田 圭一	(福 岡)	とびうめクラブ	6	志村 一子	(埼 玉)	大宮レディース
7	植村 泰	(兵 庫)	川西もくれん	7	山崎季久子	(神奈川)	相模原レディース
8	永井 昭爾	(神奈川)	川崎ラージ	8	梅林 千勢	(兵 庫)	兵庫ベテラン会

平成 29 年度 全日本社会人卓球選手権大会 男女ベスト 16
(30 歳以上の者が対象:平成元年(昭和 64 年) 4 月 1 日以前に生まれた者)

男子シングルス				女子シングルス			
1	上田 仁	(東 京)	協和発酵キリン	1	松澤菜里奈	(岐 阜)	十六銀行
2	丹羽 孝希	(東 京)	スヴェンソン	2	鈴木 李茄	(茨 城)	日立化成
3	平野 友樹	(東 京)	協和発酵キリン	3	平 侑里香	(東 京)	サンリツ
4	高木和 卓	(東 京)	東京アート	4	森蘭 美咲	(東 京)	日立化成
5	笠原 弘光	(東 京)	協和発酵キリン	5	平田 有貴	(静 岡)	アスモ
6	御内健太郎	(東 京)	シチズン時計	6	馬場 麻裕	(静 岡)	アスモ
7	松平 賢二	(東 京)	協和発酵キリン	7	松平 志徳	(大 阪)	ミキハウス
8	軽部 隆介	(東 京)	シチズン時計	8	久野 理世	(岐 阜)	十六銀行
	神 巧也	(東 京)	シチズン時計		森蘭 美月	(東 京)	サンリツ
	加藤 由行	(東 京)	フジ		土田 美佳	(広 島)	中国電力
バ	時吉 佑一	(東 京)	ZEOS	バ	宋 恵佳	(広 島)	中国電力
ス	高岡諒太郎	(東 京)	リコー	ス	田代 早紀	(大 阪)	日本生命
ト	有延 大夢	(東 京)	リコー	ト	松本 優希	(東 京)	サンリツ
16	鹿屋 良平	(東 京)	リコー	16	平野 容子	(愛 知)	豊田自動織機
	山本 勝也	(東 京)	リコー		天野 優	(東 京)	サンリツ
	飯野 弘義	(東 京)	T.O.M&卓球三昧		永尾 堯子	(静 岡)	アスモ

※全日本社会人選手権大会に出場する場合は、マスターズの部には出場できない。また、マスターズの部に出場する場合は、全日本社会人選手権大会には出場できない。

注 1) 段級制規程要約

段位取得について(平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)
③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約(平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者	6 段

JOCジュニアオリンピックカップ2018
平成30年度全日本卓球選手権大会(カデットの部) 実施要項

- (1) 名称 JOCジュニアオリンピックカップ 2018 平成30年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)
- (2) 期日 平成30年11月2日(金)～4日(日)
- (3) 会場 カメイアリーナ仙台(仙台市体育館) 仙台市営地下鉄「富沢」駅より徒歩5分
〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢 1-4-1
TEL:022-244-1111 FAX:022-244-1115
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 宮城県卓球協会、仙台市卓球協会
- (6) 後援 (公財)日本オリンピック委員会[JOC]、宮城県、宮城県教育委員会、
(公財)宮城県体育協会、仙台市、仙台市教育委員会、仙台市体育協会、
スポーツコミッションせんだい、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、
KHB東日本放送、ミヤギテレビ、河北新報社(予定)
- (7) 競技種目
 ①13歳(中学1年生)以下男子シングルス
 ②13歳(中学1年生)以下女子シングルス
 ③14歳(中学2年生)以下男子シングルス
 ④14歳(中学2年生)以下女子シングルス
 ⑤男子ダブルス
 ⑥女子ダブルス
- (8) 試合方法 全試合、11ポイント、5ゲームマッチのトーナメント方式で行う。
- (9) 競技日程
- | | | | | |
|-----|-------|--------|---------|------------|
| 11月 | 2日(金) | 9:15～ | 開会式 | |
| | | 10:00～ | 男女ダブルス | 1回戦～5回戦まで |
| | | | 男女シングルス | 1回戦(13歳以下) |
| | | | 女子シングルス | 1回戦(14歳以下) |
| | 3日(土) | 9:00～ | 男女ダブルス | 準決勝～決勝まで |
| | | | 男女シングルス | 1～3・4回戦 |
| | 4日(日) | 9:00～ | 男女シングルス | 決勝まで |
| | | 13:45～ | 閉会式 | |
- (10) 競技ルール
 ①現行の日本卓球ルールによる。
 ②テーブルはグリーン又はブルーを使用する。
 ③使用球は全ての種目において株式会社VICTAS社のTSP CP40+3スターを使用する。
 ④ゼッケンは平成30年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
 ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2種類以上のユニホームを持参すること。
 ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАが公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
 ①参加者は平成30年度(公財)日本卓球協会選手登録したものであること。
 ②13歳以下の部は中学1年生以下で平成17年4月2日以降生まれたものであること。
 14歳以下の部は中学2年生以下で平成16年4月2日以降生まれたものであること。
 該当年齢より下のものも予選会に出場し代表権を得れば出場できるが、シングルスは13歳以下または、14歳以下どちらか1種目に限る。
 ダブルスは同一都道府県で平成16年4月2日以降生まれたものであれば誰とでも組むことができる。
 ③選手は登録されている当該都道府県より、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
 ④次に該当するものは割当人数以外に予選会を経ないで、()内の種目に参加することができる。
 (ア)平成29年度全日本カデットのランキング保持者または平成30年度全国中学校卓球大会ランキング保持者で現在2年生の者。(14歳以下の部に)
 (イ)平成29年度全日本カデットのランキング保持者または平成30年度全国中学校卓球大会のランキング保持者で現在1年生以下の者。
 (13歳以下または14歳以下の部に)
 (ウ)平成30年度全日本ホープスランキング保持者の者。
 (13歳以下の部に)
 (エ)平成29年度ダブルスランキングを保持している組で現在中学2年生以下の組。
 (ダブルスに)
 (オ)ナショナルチーム(ジュニア、ホープス含む)に所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。また、強化本部の要請などにより(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。
 ※カプランキングの選手は対象にならない。又、ジュニアナショナルチームに所属する選手が国際試合、海外遠征等で予選会に出場できない場合は、(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。ただし、これらの選手も必ず都道府県卓球協会(連盟)を通じて申し込むこと。

(12) 参加数 ①下表のとおり

13歳以下及び14歳以下シングルス男女各		ダブルス男女各	
都道府県名	人数	都道府県名	組数
宮城（開催地）、千葉、神奈川、静岡	7名	宮城（開催地）、千葉、神奈川、静岡	6組
北海道、兵庫	6名	北海道、茨城、兵庫	5組
茨城	5名	福島、埼玉、新潟、愛知	4組
福島、栃木、埼玉、新潟、愛知、岐阜、	4名	栃木、群馬、東京、長野、岐阜、福岡	3組
群馬、東京、長野、大阪、山口、福岡	3名	青森、岩手、秋田、山形、石川、三重、京都、大阪、岡山、山口、徳島、愛媛、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島	2組
青森、岩手、秋田、山形、山梨、富山、石川、福井、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2名	山梨、富山、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、広島、香川、高知、宮崎、沖縄	1組

②特別推薦枠 前記の人数以外に各都道府県に競技種目①～④のうちいずれか1種目に限り1名の推薦枠を設ける。但し、ペンホルダーもしくはカット型選手※に限る。尚、申込書備考欄に「特別枠」と明記すること。

※特別推薦枠の対象となるペンホルダー選手、カット型について

- 1) 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 2) 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。
- 3) カットを主戦とするプレースタイルの選手。

③ランキングによる加算：平成29年度本大会の各種目のランキング8名（組）の内に2名（組）以上のランキング者（組）を持つ加盟団体（**別紙ランキング表に赤字で表示**）は、当該種目に限り2名（組）につき1名（組）追加して申し込むことができる。申込書備考欄に「加算枠」と明記すること。但し、エリートアカデミー所属のランキング者（組）は対象としない。

(13) 参加料 シングルス1人 3,000円、ダブルス1組 4,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛に申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会）
（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込ください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

[I] 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

[II] 〒981-0943 宮城県仙台市青葉区国見1-8-1 東北福祉大学内
宮城県卓球協会

TEL/FAX：(022) 233-8364

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

(15) 申込締切 平成30年9月18日（火）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
旅行代理店 （株）近畿日本ツーリスト東北 仙台教育旅行支店 担当 西村
TEL：022-221-6711 FAX：022-221-6180

(17) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑥体育館駐車場やその他の大会情報は、宮城県卓球協会ホームページにてご確認ください。

平成 29 年度全日本卓球選手権大会 (カデットの部) ランキング

13歳以下男子シングルス				13歳以下女子シングルス			
1	吉山 僚一	(埼 玉)	TC中原	1	大藤 沙月	(大 阪)	ミキハウスJSC
2	前出 陸杜	(三 重)	松生TTC	2	小塩 遥菜	(福 岡)	石田卓球クラブ
3	鈴木 颯	(愛 知)	愛工大附属中学校	3	吉井 亜紀	(岡 山)	就実中学校
4	徳田 幹太	(山 口)	野田学園中学校	4	大久保ひかり	(北 海 道)	文京台クラブ
5	飯村 悠太	(山 口)	野田学園中学校	5	山崎 唯愛	(島 根)	明誠U15
6	田尻 要	(愛 知)	愛工大附属中学校	6	赤江 夏星	(兵 庫)	須佐野中学校
7	濱田 尚人	(高 知)	高知大学附属小学校	7	小野 立夢	(埼 玉)	SHOCHI Jr.
8	高橋 慶太	(京 都)	田阪卓研	8	由本 楓羽	(岡 山)	ねや卓球クラブ
14歳以下男子シングルス				14歳以下女子シングルス			
1	篠塚 大登	(愛 知)	愛工大附属中学校	1	菅澤柚花里	(大 阪)	ミキハウスJSC
2	原田 春輝	(福 岡)	石田卓球クラブ	2	中森 帆南	(大 阪)	ミキハウスJSC
3	濱田 一輝	(愛 知)	愛工大附属中学校	3	伊藤 百華	(香 川)	ヴィスポことひら
4	田原 翔太	(大 分)	明豊中学校	4	伊東みらい	(福 島)	いわき卓球
5	伊藤 礼博	(東 京)	安田学園中学校	5	泉田 和抄	(埼 玉)	KYOWA KIRIN T. T. S
6	谷垣 佑真	(愛 知)	愛工大附属中学校	6	枝広 愛	(岡 山)	就実中学校
7	安江 光博	(高 知)	明德義塾中・高校	7	田村 萌夏	(愛 知)	米田道場
8	鈴木 笙	(大 阪)	育徳クラブ	8	駒瀬 ゆめ	(静 岡)	浜松修学舎中学校
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	濱田 一輝	(愛 知)	愛工大附属中学校	1	菅澤柚花里	(大 阪)	ミキハウスJSC
	篠塚 大登	(愛 知)	愛工大附属中学校		大藤 沙月	(大 阪)	ミキハウスJSC
2	谷垣 佑真	(愛 知)	愛工大附属中学校	2	中森 帆南	(大 阪)	ミキハウスJSC
	鈴木 颯	(愛 知)	愛工大附属中学校		萩井菜津子	(大 阪)	ミキハウスJSC
3	三浦 裕大	(石 川)	河北台中学校	3	山崎 唯愛	(島 根)	明誠U15
	薛 史斗	(石 川)	かほくジュニア		直江 杏	(島 根)	明誠U15
4	中川 泰雅	(東 京)	安田学園中学校	4	青井 さくら	(高 知)	明德義塾中・高校
	伊藤 礼博	(東 京)	安田学園中学校		白山 亜美	(高 知)	明德義塾中・高校
5	原田 春輝	(福 岡)	石田卓球クラブ	5	新井和夏葉	(神 奈 川)	横浜隼人中学校
	齋藤 大耀	(福 岡)	石田卓球クラブ		遠山 美涼	(神 奈 川)	横浜隼人中学校
6	竹谷 義信	(福 岡)	石田卓球クラブ	6	村上 宝	(大 阪)	昇陽中学校
	道広 晴貴	(福 岡)	石田卓球クラブ		東川 陽菜	(大 阪)	昇陽中学校
7	安江 光博	(高 知)	明德義塾中・高校	7	枝広 愛	(岡 山)	就実中学校
	斉藤 秀太	(高 知)	明德義塾中・高校		吉井 亜紀	(岡 山)	就実中学校
8	松島 一史	(大 分)	豊和卓球	8	泉田 和抄	(埼 玉)	KYOWA KIRIN T. T. S
	中村 煌和	(大 分)	豊和卓球		近藤 琳	(埼 玉)	KYOWA KIRIN T. T. S

平成 30 年度全日本卓球選手権大会 (ホープスの部) ランキング

ホープス男子		ホープス女子	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

平成 30 年度 全国中学校卓球大会 ランキング

男 子		女 子	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

第 31 回全国ラージボール卓球大会 実施要項

- (1) 名 称 第 31 回全国ラージボール卓球大会
- (2) 期 日 平成 30 年 11 月 23 日 (金) ～11 月 25 日 (日)
- (3) 会 場 郡山総合体育館
J R 「郡山」 駅より車約 10 分 福島交通バス さくら循環虎丸周り 「総合体育館前」 下車
市役所・新さくら通り經由「一本松」 下車
〒963-8016 福島県郡山市豊田町 3-10 TEL (024) 934-1500
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 福島県卓球協会、福島県ラージボール卓球協会、郡山市卓球協会
- (6) 後 援 福島県、(公財) 福島県体育協会、郡山市、郡山市体育協会、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、K F B 福島放送、テレビユー福島 (予定)
- (7) 競技種目
- イ. シングルス :
- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス (年齢制限なし) | ⑩一般女子シングルス (年齢制限なし) |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |
- ロ. 混合ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とする。
- | |
|--------------------------|
| ①一般混合ダブルス (年齢制限なし) |
| ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |
- (8) 試合方法 ①各種目とも 11 ポイント 3 ゲームマッチとする。
②全ての種目は、第 1 ステージは 3～4 名 (組) によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者 (組) によるトーナメント方式とする。
(1 種目 1 トーナメント)
- (9) 競技日程(日程については参加申込数などにより変更することがあります。確定次第本会ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。(10 月下旬予定))
- | | | |
|------|---------------|--------------------------------------|
| (予定) | 11 月 22 日 (木) | 受付、練習 |
| | 23 日 (金) | 開会式 (11 : 00～ 予定)
混合ダブルス (一部決勝まで) |
| | 24 日 (土) | 男女シングルス (第 1 ステージ)
混合ダブルス (決勝まで) |
| | 25 日 (日) | 男女シングルス (決勝まで)
閉会式 (14 : 00～ 予定) |
- (10) 競技ルール ①現行のラージボール卓球ルール(競技ルール)による。
②使用球は、JTТА 公認プラスチック球 44 mm を使用する
③表ソフトラバー (粒高ラバーを除く) のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
④ゼッケンは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤第 1 ステージの審判は選手の相互審判で行う。

- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成30年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
 - ②年齢は、平成31年4月1日迄に当該年齢に達している者であること。
（但し、一般に出場する選手の年齢制限はない）
（イ）40（40歳以上）は昭和54年4月1日以前に生まれた者。
（ロ）50（50歳以上）は昭和44年4月1日以前に生まれた者。
（ハ）60（60歳以上）は昭和34年4月1日以前に生まれた者。
（ニ）65（65歳以上）は昭和29年4月1日以前に生まれた者。
（ホ）70（70歳以上）は昭和24年4月1日以前に生まれた者。
（ヘ）75（75歳以上）は昭和19年4月1日以前に生まれた者。
（ト）80（80歳以上）は昭和14年4月1日以前に生まれた者。
（チ）85（85歳以上）は昭和9年4月1日以前に生まれた者。
 - ③各選手はシングルス、混合ダブルスの両種目出場することができる。
 - ④平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会に申込みされた選手は出場できない。
（予選会については都道府県に一任する）
*混合ダブルスはペア解消してもその年度はどちらか一つの大会のみ出場できるものとする
 - ⑤平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会シングルス8位、ダブルス3位（4組）までに入った選手は翌年度全国ラージボール卓球大会には出場できない。
ただし、混合ダブルス3位までに入りペア解消時は翌年度全国ラージボール卓球大会に出場できる。（その場合、推薦資格はありません）
 - ⑥同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
 - ⑦混合ダブルスのパートナーは同一加盟団体の者に限る。
 - ⑧本大会は選手登録されている、各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
 - ⑨審判ができること。（できれば公認審判員の資格を有することが望ましい）
なお、帯同者が代わりに審判をしてもよい。
 - ⑩無条件参加選手はありません。

(12) 参加数

シングルス男女各枠		混合ダブルス	
都道府県名	人数	都道府県名	組数
東京,愛知	各40名	東京,愛知	25組
北海道,静岡	各30名	北海道,神奈川,静岡	15組
千葉,神奈川,新潟,大阪	各25名	埼玉,千葉,新潟	12組
青森,山形,福島,茨城,栃木,埼玉,富山,山口	各15名	青森,宮城,秋田,山形,福島,茨城,富山,大阪,山口,徳島	10組
岩手,宮城,秋田,広島,香川,徳島,福岡	各10名	岩手,栃木,群馬,山梨,長野,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,京都,兵庫,奈良,和歌山,鳥取,島根,岡山,広島,香川,愛媛,高知,福岡,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄	9組
群馬,山梨,長野,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,京都,兵庫,奈良,和歌山,鳥取,島根,岡山,愛媛,高知,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄	各9名		

主管地は男女シングルス各20名と混合ダブルス20組を増枠する。

- (13) 参加料 シングルス1名 3,000円、ダブルス1組 4,000円

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団团长捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会）

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

〔Ⅱ〕 〒963-8041 福島県郡山市富田町字豊年田1-9

郡山市卓球協会 根本 裕子 宛

TEL (090) 4555-4896、FAX (024) 961-1730

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

注) 個人またはチームからの（公財）日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けない。

必ず各都道府県の加盟団体が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。

- (15) 申込締切 平成 30 年 9 月 3 日（月）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (16) 表彰 各種目 1～3 位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。
※参加者が 8 名（組）に満たない種目は 1、2 位のみの表彰とする。
- (17) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③10 回出場表彰を行います。該当者は参加申込書(10 回表彰欄)に記入申請すること。
(10 回目の出場者が対象。全国ラージボール大会出場回数となります。一度表彰された方は該当しません。)
④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事。
⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応致します。
⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

天皇杯・皇后杯 平成 30 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部） 実施要項

- (1) 名 称 天皇杯・皇后杯 平成 30 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 平成 31 年 1 月 14 日（月）～20 日（日）
 (3) 会 場 大阪市中央体育館（地下鉄中央線「朝潮橋」駅 下車徒歩 3 分）
 〒552-0005 大阪府大阪市港区田中 3-1-40 TEL: (06) 6576-0800
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 NPO 法人大阪卓球協会
 (6) 協 賛 未定
 (7) 用具協賛 日本卓球株式会社（ボール）
 (8) スポーツ振興助成 一般財団法人上月財団
 (9) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルス
 (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男女シングルス第 1 ステージは 11 ポイント 5 ゲームマッチ、第 2 ステージ（ベスト 32 決定戦以降）
 は 11 ポイント 7 ゲームマッチ、他の種目はすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチで行なう。
 (11) 競技日程 後日主管団体より連絡する。
 (12) 参加人員 下記表のとおり

表－ (1)

加盟団体	男子 単	女子 単	男子 複	女子 複	混 合 複
大阪（開催地）、東京、愛知	10	10	5	5	5
北海道、静岡、福岡	7	7	4	4	4
埼玉、神奈川、	6	6	3	3	3
京都、兵庫	5	5	3	3	3
千葉、広島	4	4	2	2	2
山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、長野、岡山、山口、長崎、熊本、 大分、鹿児島	3	3	2	2	2
青森、岩手、宮城、秋田、山梨、富山、石川、福井、三重、岐阜、滋賀、奈良、 和歌山、鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、宮崎、沖縄	2	2	1	1	1

表－ (2)

加盟団体名	ジュニア男子	ジュニア女子
大阪（開催地）、千葉、神奈川、愛知	8	8
北海道、埼玉、東京、静岡、兵庫	7	7
茨城	6	6
福島	5	5
宮城、栃木、群馬、新潟、長野、岐阜、福岡	4	4
岩手、三重、京都、岡山、広島、山口、愛媛	3	3
青森、秋田、山形、山梨、富山、石川、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、 島根、香川、徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2

表－ (3) ブロック推薦数（男女シングルスまたはジュニア男女いずれか 1 種目）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

- (13) 参加資格
- ①参加者は、平成30年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注1参照）に定められた有段者であること。
 - ②男女シングルス、ジュニア男女、男女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。但し、ジュニア男女、男女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の1つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 - (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。
 - (ロ) 日本で生まれたもので引き続き3年以上、日本に住所又は居所を有するもの。又はその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 - (ハ) 引き続き10年以上日本に居所を有する者。
 - ③各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙をFAXする事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。
 - ⑤ジュニアは、平成13年4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
 - ⑥本年度の全日本選手権大会（カデット以下の部）に出場した者でも、都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
 - ⑦同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。

※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
 - ⑧無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	平成29年度全日本選手権大会ランキング	男女シングルス・男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生は・・・一般に
2		平成29年度総合ランキング (平成31年度より廃止)	男女シングルスランキング各16位まで・・・男女各シングルスに (平成31年度より廃止)
3		*平成30年度全日本社会人選手権大会ランキング	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
4		平成29年度全日本(カデット)ランキング	14歳(中学2年)以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳(中学1年)以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
5		平成30年度全国中学校	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
6	日本リーグ	*平成30年度日本リーグ	男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に
7	日学連	*平成30年度全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで、男女ダブルスランキング各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
8	高体連	*平成30年度全国高校選手権大会	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各4組まで・・・男女ダブルスに
1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。 2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。			

(14) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② ランキング選手（一般S種目の上位16シード、D種目の上位8シード）はフリー抽選とするが、組合せ全体を通して、所属チームに関する均等配分を優先する原則と、都道府県の均等配分の原則が適用される。但し、ジュニア種目の上位8シードはフリー抽選とせず所属チーム及び都道府県の均等配分を考慮し抽選を行う。
- ③ 一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルのランキング推薦選手はベスト32決定戦より、ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト16決定戦よりスーパーシードとして出場する。但し、推薦選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
- ④ 一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
- ⑤ テーブルはグリーンもしくはブルーを使用する。
- ⑥ 使用球は、日本卓球株式会社のプラ3スタープレミアムのみを使用する。
- ⑦ ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
- ⑧ 同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを2種類以上持参すること。
- ⑨ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАが公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑩ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。

※フロアマットを使用することがある。

(15) 参加料

シングルス 1名 3,000円

ダブルス 1組 4,000円

(16) 申込方法

別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団团长捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込ください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

[I] 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

[II] 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中3-4-36 大阪府立体育会館内

NPO 法人大阪卓球協会 宛

TEL: (06) 6336-0801、FAX: (06) 6636-0802

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

(17) 申込締切

① 推薦出場の選手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。

② 卒業高等学校所在地から予選会を経て獲得したものについては、その都道府県から申込み、ランキング推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをする事。

③ ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう十分に注意すること。

平成30年11月13日（火）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(18) 宿泊

NPO 法人大阪卓球協会ホームページをご覧ください。

(19) その他

① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は原則として認めない。又、組み合わせ抽選決定後は一切認めない。

② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛連絡すること。

棄権する場合は、理由を付して当該加盟団团长あて文書を持って届け出ること。そして、加盟団团长は、その旨をただちに本会あて通知すること。

③ 開会式には原則として全員参加すること。

④ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急承知はしますが、各自の責任に帰することとします。

⑥ 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報には本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦ 本競技大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を日本卓球協会へ別途提出しているもののみエントリーできる。

本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

① 平成 29 年度 全日本選手権大会ランキング (申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	張本 智和	(東 京)	JOCエリートアカデミー	1	伊藤 美誠	(大 阪)	スターツ S C
2	水谷 隼	(東 京)	木下グループ	2	平野 美宇	(東 京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
3	森 蘭 政崇	(東 京)	明治大学	3	永尾 堯子	(静 岡)	アスモ
4	松平 健太	(東 京)	木下グループ	4	石川 佳純	(山 口)	全農
5	渡辺 裕介	(高 知)	明治大学	5	松澤 茉里奈	(岐 阜)	十六銀行
6	松平 賢二	(東 京)	協和発酵キリン	6	佐藤 瞳	(大 阪)	ミキハウス
7	大島 裕哉	(東 京)	木下グループ	7	森 さくら	(大 阪)	日本生命
8	神 巧也	(東 京)	シチズン時計	8	石垣 優香	(大 阪)	日本生命
9	吉田 雅己	(東 京)	協和発酵キリン	9	安藤 みなみ	(東 京)	専修大学
10	藤村 友也	(和歌山)	日鉄住金物流	10	芝田 沙季	(大 阪)	ミキハウス
11	田添 健汰	(東 京)	専修大学	11	早田 ひな	(福 岡)	日本生命
12	上村 慶哉	(東 京)	早稲田大学	12	大矢未早希	(東 京)	サンリツ
13	龍崎 東寅	(東 京)	明治大学	13	森 蘭 美月	(東 京)	サンリツ
14	岸川 聖也	(千 葉)	ファースト	14	前田 美優	(大 阪)	日本生命
15	定松 祐輔	(福 岡)	中央大学	15	土井 みなみ	(広 島)	中国電力
16	田添 響	(福 岡)	専修大学	16	橋本 帆乃香	(大 阪)	ミキハウス
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{ 水谷 隼 (東 京) 木下グループ			1	{ 早田 ひな (福 岡) 日本生命		
	{ 大島 裕哉 (東 京) 木下グループ				{ 伊藤 美誠 (大 阪) スターツ S C		
2	{ 上田 仁 (東 京) 協和発酵キリン			2	{ 梅村 優香 (大 阪) 四天王寺高校		
	{ 吉田 雅己 (東 京) 協和発酵キリン				{ 塩見 真希 (大 阪) 四天王寺高校		
3	{ 藤村 友也 (和歌山) 日鉄住金物流			3	{ 田代 早紀 (大 阪) 日本生命		
	{ 吉村 和弘 (愛 知) 愛知工業大学				{ 前田 美優 (大 阪) 日本生命		
4	{ 宇田 幸矢 (東 京) JOCエリートアカデミー/大原学園			4	{ 佐藤 瞳 (大 阪) ミキハウス		
	{ 張本 智和 (東 京) JOCエリートアカデミー				{ 橋本 帆乃香 (大 阪) ミキハウス		
5	{ 丹羽 孝希 (東 京) スヴェンソン			5	{ 中尾 優子 (三 重) エクセディ		
	{ 酒井 明日翔 (東 京) 明治大学				{ 樺澤 かえ (三 重) エクセディ		
6	{ 松平 賢二 (東 京) 協和発酵キリン			6	{ 土田 美佳 (広 島) 中国電力		
	{ 森本 耕平 (東 京) 協和発酵キリン				{ 宋 恵佳 (広 島) 中国電力		
7	{ 張 一博 (東 京) 東京アート			7	{ 三宅 菜津美 (広 島) 中国電力		
	{ 高木 和 卓 (東 京) 東京アート				{ 成 本 綾海 (広 島) 中国電力		
8	{ 森 蘭 政崇 (東 京) 明治大学			8	{ 大矢未早希 (東 京) サンリツ		
	{ 渡辺 裕介 (東 京) 明治大学				{ 天野 優 (東 京) サンリツ		
ベ	{ 笠原 弘光 (東 京) 協和発酵キリン			ベ	{ 鈴木 李茄 (茨 城) 日立化成		
	{ 平野 友樹 (東 京) 協和発酵キリン				{ 安藤 みなみ (東 京) 専修大学		
	{ 三浦 健太郎 (茨 城) 筑波大学				{ 田中 千秋 (東 京) 早稲田大学		
	{ 坪井 勇磨 (茨 城) 筑波大学				{ 加藤 結有子 (東 京) 早稲田大学		
	{ 稲嶋 俊介 (埼 玉) 埼玉工業大学				{ 平 真由香 (茨 城) 日立化成		
	{ 千葉 悠介 (埼 玉) 埼玉工業大学				{ 牛嶋 星羅 (茨 城) 日立化成		
ス	{ 上江洲 光志 (愛 知) 愛知工業大学			ス	{ 政本 ひかり (京 都) 同志社大学		
	{ 松下 大星 (愛 知) 愛知工業大学				{ 朝田 茉依 (京 都) 同志社大学		
ト	{ 松山 祐季 (愛 知) 愛知工業大学			ト	{ 山本 怜 (東 京) 中央大学		
	{ 木造 勇人 (愛 知) 愛工大名電高校				{ 明神 佑実 (東 京) 中央大学		
16	{ 松平 健太 (東 京) 木下グループ			16	{ 中村 真優美 (福 岡) 大正大		
	{ 田添 健汰 (東 京) 専修大学				{ 三輪 咲里南 (福 岡) 大正大		
	{ 横山 輝 (広 島) 原田鋼業				{ 平 侑里香 (東 京) サンリツ		
	{ 徳島 剛 (広 島) 原田工業				{ 松本 優希 (東 京) サンリツ		
	{ 神 巧也 (東 京) シチズン時計				{ 三條 裕紀 (東 京) 青山学院大学		
	{ 町 飛鳥 (東 京) シチズン時計				{ 熊中 理子 (東 京) 青山学院大学		
混合ダブルス				ジュニア男子			
1	{ 森 蘭 政崇 (東 京) 明治大学			1	張本 智和 (東 京) JOCエリートアカデミー		
	{ 伊藤 美誠 (大 阪) スターツ S C			2	宇田 幸矢 (東 京) JOCエリートアカデミー/大原学園		
2	{ 軽部 隆介 (東 京) シチズン時計			3	金光 宏暢 (東 京) 大原学園高校		
	{ 松本 優希 (東 京) サンリツ			4	戸上 隼輔 (山 口) 野田学園高校		
3	{ 吉村 真晴 (茨 城) 名古屋ダイハツ			5	手塚 峻馬 (高 知) 明徳義塾中・高校		
	{ 石川 佳純 (山 口) 全農			6	浅津 碧利 (東 京) JOCエリートアカデミー/帝京		
4	{ 大島 裕哉 (東 京) 木下グループ			7	濱田 一輝 (愛 知) 愛工大附属中学		
	{ 早田 ひな (福 岡) 日本生命			8	宮川 昌大 (山 口) 野田学園高校		
5	{ 森田 侑樹 (東 京) シチズン時計						
	{ 平 侑里香 (東 京) サンリツ						
6	{ 郡山 北斗 (東 京) 専修大学						
	{ 秋田 佳菜子 (東 京) 中央大学						
7	{ 張 一博 (東 京) 東京アート						
	{ 森 蘭 美咲 (東 京) 日立化成						
8	{ 及川 瑞基 (東 京) 専修大学						
	{ 安藤 みなみ (東 京) 専修大学						
				ジュニア女子			
				1	長崎 美柚 (東 京) JOCエリートアカデミー		
				2	塩見 真希 (大 阪) 四天王寺高校		
				3	木原 美悠 (東 京) JOCエリートアカデミー		
				4	大藤 沙月 (大 阪) ミキハウスJSC		
				5	出雲 美空 (石 川) 遊学館高校		
				6	菅澤 柚花里 (大 阪) ミキハウスJSC		
				7	岡崎 日和 (埼 玉) 川口総合高校		
				8	千葉 菜月 (石 川) 遊学館高校		

② 平成 29 年度 全日本卓球総合ランキング

男子シングルス			女子シングルス		
1	上田 仁	(東京) 協和発酵キリン	1	鈴木 李茄	(茨城) 日立化成
2	張本 智和	(東京) JOCエリートアカデミー	2	伊藤 美誠	(大阪) スターツSC
3	平野 友樹	(東京) 協和発酵キリン	3	松澤 茉里奈	(岐阜) 十六銀行
4	藤村 友也	(和歌山) 日鉄住金物流	4	安藤 みなみ	(東京) 専修大学
5	森 蘭 政崇	(東京) 明治大学	5	土井 みなみ	(広島) 中国電力
6	松下 海輝	(和歌山) 日鉄住金物流	5	永尾 堯子	(静岡) アスモ
7	吉田 雅己	(東京) 協和発酵キリン	7	前田 美優	(大阪) 日本生命
8	松平 賢二	(東京) 協和発酵キリン	8	平 真由香	(茨城) 日立化成
9	水谷 隼	(東京) 木下グループ	9	平野 美宇	(東京) JOCエリートアカデミー/大原学園
10	高見 真己	(愛知) 愛工大名電高校	10	平 侑里香	(東京) サンリツ
11	戸上 隼輔	(山口) 野田学園高校	11	森 蘭 美咲	(東京) 日立化成
12	笠原 弘光	(東京) 協和発酵キリン	12	森 さくら	(大阪) 日本生命
12	藤本 海統	(和歌山) 日鉄住金物流	13	奥下 茜里	(東京) 日本大学
14	緒方 遼太郎	(東京) 早稲田大学	13	平田 有貴	(静岡) アスモ
14	丹羽 孝希	(東京) スヴェンソン	15	石垣 優香	(大阪) 日本生命
16	木造 勇人	(愛知) 愛工大名電高校	16	石川 佳純	(山口) 全農
			16	前瀧 初音	(広島) 中国電力

③ 平成 30 年度 第 52 回全日本社会人卓球選手権大会ベスト 8 (男女ダブルスベスト 4) (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

④ 平成 29 年度 全日本 (カデット 14 歳以下の部) ランキングよりジュニアへの推薦
(申込みは都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス			14歳以下女子シングルス		
1	篠塚 大登	(愛知) 愛工大附属中学校	1	菅澤 柚花里	(大阪) ミキハウス JSC
2	原田 春輝	(福岡) 石田卓球クラブ	2	中森 帆南	(大阪) ミキハウス JSC
3	濱田 一輝	(愛知) 愛工大附属中学校	3	伊藤 百華	(香川) ヴィスポことひら
4	田原 翔太	(大分) 明豊中学校	4	伊藤 みらい	(福島) いわき卓球
5	伊藤 礼博	(東京) 安田学園中学校	5	泉田 和抄	(埼玉) KYOWA KIRIN T. T. S
6	谷垣 佑真	(愛知) 愛工大附属中学校	6	枝広 愛	(岡山) 就実中学校
7	安江 光博	(高知) 明德義塾中・高校	7	田村 萌夏	(愛知) 米田道場
8	鈴木 笙	(大阪) 育徳クラブ	8	駒瀬 ゆめ	(静岡) 浜松修学舎中学校

⑤ 平成 30 年度 第 49 回全国中学校卓球大会 ランキング (申し込みは都道府県から)

男 子		女 子	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑥ 平成 30 年度 日本リーグ実業団連盟からの推薦 (申し込みは都道府県から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑦ 平成 30 年度 第 85 回全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部) よりの推薦 (申し込みは都道府県から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑧平成 30 年度 第 86 回全国高等学校選手権大会よりの推薦（申込みは都道府県卓から）

（注） J：ジュニアに推薦

★：一般・ジュニア共推薦対象にならない選手

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
J 4	()	J 4	()
J 5	()	J 5	()
J 6	()	J 6	()
7	()	7	()
J 8	()	J 8	()
J 9	()	J 9	()
J 10	()	J 10	()
J 11	()	J 11	()
J 12	()	J 12	()
J 13	()	J 13	()
★14	()	★14	()
★15	()	★15	()
★16	()	★16	()
ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）		ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）	
Jベ	()	Jベ	()
Jス	()	Jス	()
Jト	()	Jト	()
J 32	()	J 32	()
J	()	J	()
J	()	J	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）

③全日本選手権大会（一般・ジュニア） ④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
（ア）初出場者	初段
（イ）同一大会 3 回目出場者	2 段
（ウ）同一大会 5 回目出場者	3 段
（エ）上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
（オ）上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
（カ）上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者	6 段

※段位の申請につきましては、その年度に登録されている都道府県協会（連盟）を通じてお申込みいただきますようお願いいたします。

第 16 回全国ホープス選抜卓球大会 実施要項

- (1) 名称 第 16 回全国ホープス選抜卓球大会
- (2) 期 日 平成 31 年 3 月 22 日(金)～24 日(日)
- (3) 会 場 岐阜メモリアルセンター
〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28 TEL 058-233-8822
JR・名鉄「岐阜」駅より 岐阜バス高富行 約20分「メモリアル正門前」ほか下車
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 岐阜県卓球協会、岐阜市卓球協会
- (6) 後援 岐阜県、岐阜県教育委員会、(公財)岐阜県体育協会、岐阜県中学校体育連盟、
岐阜市、岐阜市教育委員会、(公財)岐阜市体育協会、岐阜コンベンション協会
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 (イ) チームは都道府県単位とし、選手 5 名、監督(引率者) 1 名、コーチ 1 名で編成する。
但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。
(ロ) 5 シングルス
1 番 2 番 3 番 4 番 5 番
3 年生以下 6 年生以下 5 年生以下 4 年生以下 6 年生以下
(ハ) 第 1 ステージ・第 2 ステージ方式で行う。台は 2 台進行で行う。
① 第 1 ステージは、1 グループ 3 チーム計 16 グループを編成し総当たり戦を行う。
また、勝敗に関係なく全試合(5 番まで)行うものとする。(例:A 対 B の試合で 3-0 の後、B が 2 点とった場合 3-2 と記録される。)なお、その記録結果はリーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
② 第 2 ステージは、各グループ 1 位による決勝トーナメントにより優勝を決定する。
また、各グループ 2 位による 2 位トーナメント、各グループ 3 位による 3 位トーナメントを行う。なお、第 2 ステージは 3 点先取で行い、3 位決定戦は行わない。
- (9) 競技日程 平成 31 年 3 月 22 日(金) 監督会議 15:00～16:00
開会式 16:30～17:30
23 日(土) 第 1 ステージ(リーグ戦) 9:00～
第 2 ステージ(2、3 位トーナメント 1 回戦)
24 日(日) 第 2 ステージ(1 位、2 位、3 位トーナメント)
閉会式 15:00～
- (10) 競技ルール ① 現行の日本卓球ルールによる。
② 選手は、平成 30 年度(公財)日本卓球協会指定のゼッケンを使用すること。
③ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
④ 粒高・アンチラバーの使用制限はしない。
- (11) 参加資格 ① 選手・監督・コーチは、平成 30 年度(公財)日本卓球協会に登録されたものであること。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する都道府県において登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
② 全国各都道府県の平成 18 年 4 月 2 日以降に生まれたもので編成する男女各 1 チーム。但し、申込単位は学校・クラブの混成も可とする。また、主管都道府県は男女各 2 チーム参加できる。なお、参加チーム数が 48 チームに満たない場合の補充は本会が別途考慮する。
③ 低学年の選手の高学年のカテゴリーへのエントリーは認める。ただし、その逆については認めない。監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議終了までに変更届を提出すること。監督会議後の変更の変更は認められない。
④ 代表選手の選抜方法は、各都道府県に一任する。

- (12)参加料 1チーム 10,000円
- (13)表彰 ①第1ステージ各ブロックの1位チームを表彰する。
②決勝トーナメント1~3位(ベスト4)まで表彰する。
- (14)使用球 使用球は、JTТА公認プラスチック球;40mmホワイトのみとする。
- (15)申込方法 各都道府県卓球協会(連盟)は、別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便または振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先:みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人日本卓球協会)
(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。(メールアドレスは、申込書に記載。)

〔I〕〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛

TEL:(03)3481-2371、FAX:(03)3481-2373

〔II〕〒501-3267 岐阜県関市星ヶ丘20-3 吉村 六夫 気付
岐阜県卓球協会 宛

TEL/FAX:(0575)24-2652

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

- (16)申込締切 平成31年2月4日(月)必着のこと。
- (17)宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18)その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
③大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
④個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。